

消防年報



三重県
菰野町消防本部
(令和6年版)

はじめに

本書は、菰野町における消防情勢と消防諸般の状況を記録し、将来の消防行政運営上の指針とするために編集しました。

統計資料は特に記載のあるものを除き、令和5年中をもって表しました。

令和6年8月

三重県 こも の ちょう 菰野町消防本部

目 次

消 防 情 勢

菰野町の概要、位置図	1
菰野町消防本部のあゆみ	2
令和5年中の主な行事	6
歴代消防長	
消防本部、消防署の組織、機構及び事務分掌	7
消防予算（当初額）	8
一般会計予算に占める消防費の割合（当初額）	
消防費に対する人口、世帯当り額	
消防力の整備指針と現有消防力の比較	9
職員階級別、所属別配置状況	10
職員階級別勤続年数状況	
職員階級別年齢状況	11
消防本部（署）庁舎の概要	12
現有消防車両	
通信施設状況	13
消防水利状況	14
各種研修実施状況	
外部研修等派遣状況	15
応急手当普及啓発活動実施状況	16
自主防災組織	17
緊急避難所	18
風水害時における緊急避難所を補完する施設	19
収容避難所	
収容避難所を補完する施設	20

消 防 団

菰野町消防団の沿革	21
歴代消防団長（合併以降）	
消防団の機構、団員数	22
年齢別、階級別消防団員数	23
在職年数別消防団員数	
消防団員報酬	
消防団員出動報酬	

消防団員職業別構成数	24
消防団消防車両配置状況	

予 防

防火対象物現況	25
用途別建築同意状況	26
工事別建築同意状況	27
過去5年間の建築同意状況	
危険物施設現況	28
危険物施設許可認可状況	
各種届出処理状況	29
消防用設備等設置検査実施状況	
広報、啓発活動状況	30

火 災

火災事案発生状況	31
過去5年間の火災事案発生状況	
地区別火災発生状況	32
月別火災発生状況	
曜日別火災発生状況	
時間別火災発生状況	33
火災出動状況	
火災出動区分詳細	
火災発生状況及び出火原因状況	34
絵で見る火災原因	38

救 急、救 助

救急事案発生状況	39
過去5年間の救急事案発生状況	
事故種別救急出動件数、搬送人員	40
現場到着所要時間別救急出動件数（覚知～現場到着）	
収容所要時間別救急搬送人員（覚知～医療機関到着）	

年齢区分別救急搬送人員	41
傷病程度別救急搬送人員	
時間別救急出動件数	
地区別救急出動状況	42
月別救急出動状況	
曜日別救急出動状況	
年齢区分別、傷病程度別救急搬送人員	43
事故種別、年齢区分別救急搬送人員	
事故種別、傷病程度別救急搬送人員	
事故種別、時間別救急出動件数	44
事故種別、応急処置件数	
事故種別、医療機関別救急搬送人員	45
救助事案発生状況	46
過去5年間の救助事案発生状況	
事故種別、救助出動件数・救助人員	47
事故種別、救助出動人員	
事故種別、救助出動車両	
救助出動状況	48
月別山岳救助出動状況	56
曜日別山岳救助出動状況	
時間別山岳救助出動状況	

気 象、通 信、その他

月別気象状況と火災件数	57
月別気温概況	58
月別降水量概況	
月別湿度概況	59
月別風速概況	
気象通報受信状況	60
三重北消防指令センター119番通報受付取扱状況	61
菰野町消防本部管内月別119番通報受付取扱状況	
菰野町消防本部管内回線別119番通報受付取扱状況	
災害件数の推移	62

消防情勢



危険物は火災の発生危険、拡大危険が大きく、消火の困難性も高い物質で特殊な消火方法を必要とします。ガソリンスタンドでは一旦火災が発生すると爆発的に延焼が拡大します。危険物を取り扱う事業所の保安体制の強化や火災予防を目的とした特別消防訓練を実施しました。

危険物安全週間に伴う特別消防訓練

令和5年5月29日

於：EneJet 菰野町田口新田SS

(株)谷口リテール販売

菰野町の概要、位置図

菰野町は三重県の北西部に位置し、西は鈴鹿山脈を境に滋賀県、北はいなべ市、東と南は四日市市に隣接している。

町の約3分の1を占める山岳地帯は鈴鹿国定公園に指定されており、御在所岳、釈迦ヶ岳、鎌ヶ岳などは、多くのアルピニストに親しまれ、老若男女を問わず人気を集めるスポットである。

さらに霊山幽谷に出で湯を持つ湯の山温泉や雄大な眺めとスリルに富んだ御在所ロープウェイ、景勝を織りなす溪谷の数々や緑豊かな丘陵地など、菰野町は鈴鹿国定公園の玄関口としてふさわしい景観をもっている。

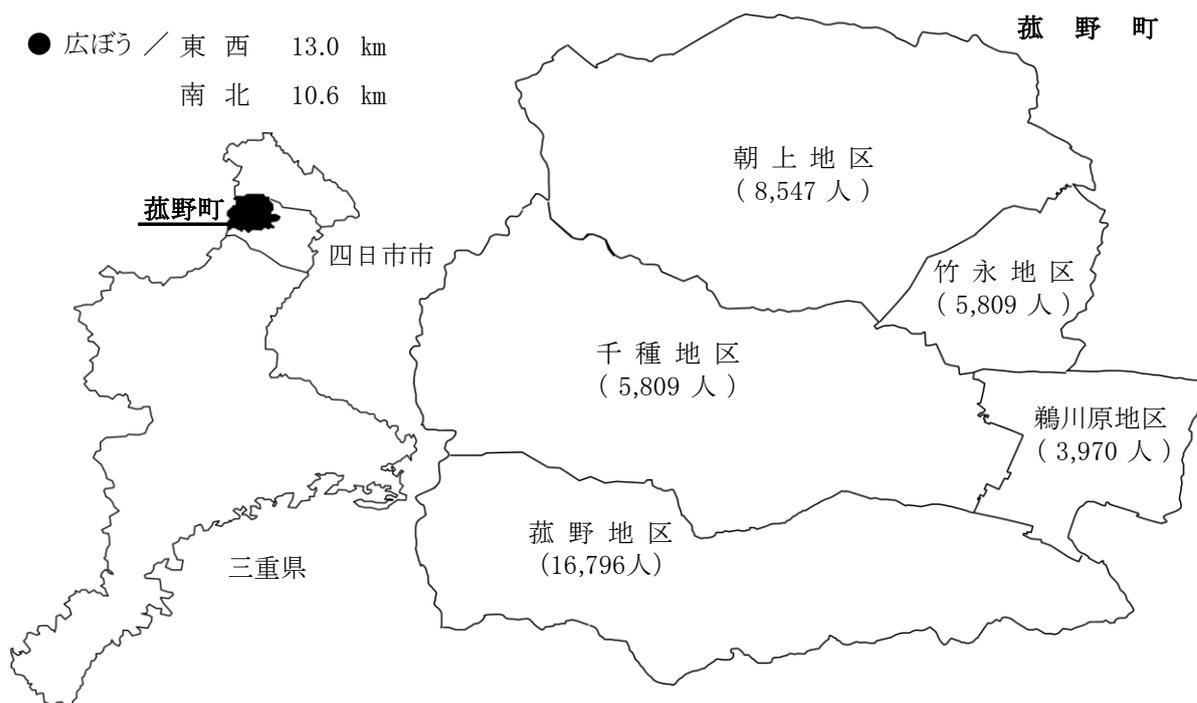
菰野町では、向かうべきまちの将来像に「支えあえる、安全で安心なまち」「豊かな自然を活かして人びとをひきつけるまち」「産業の発展と豊かなくらしが循環するまち」「菰野らしい風景の中、子育てしやすいまち」の4つをあげ、「これらのことが、いつまでも、菰野町としてあり続けられること」を目指しています。

● 位置 / 北緯 35° 01' 43" (世界測地) ● 人口 / 40,931人
東経 136° 30' 25" (令和6.3.31現在)

● 面積 / 107.28 km² ● 世帯数 / 17,281 世帯
(令和6.3.31現在)

● 海拔 / 御在所岳 1,212 m (最高地)
役場(本庁舎) 77.1 m

● 広ぼう / 東西 13.0 km
南北 10.6 km



菰野町消防本部のあゆみ

昭和58年(1983)

- 9. 30 町議会に常備消防特別委員会設置

昭和59年(1984)

- 3. 5 自治省消防庁より昭和59年度における消防本部及び消防署義務設置町村政令指定（内定）を受ける。
- 7. 19 消防庁舎建設工事着工
- 8. 24 日本消防協会より救急車（2B型）の寄贈を受ける。
- 10. 21 役場庁舎において救急業務開始（総務課消防防災係16名）

昭和60年(1985)

- 1. 31 消防庁舎完成（コミュニティ防災センターを併設）
- 2. 14 消防庁舎において試行業務開始
- ※ 4. 1 **菰野町消防本部 消防署発足**
消防本部に消防課、予防課を置き、消防署に警防課を置く。
定数31名 車両5台
- 4. 2 消防庁舎竣工式及び開署式

昭和61年(1986)

- 3. 25 ポンプ車（CD-I型）購入
- 11. 19 普通貨物自動車購入

昭和62年(1987)

- 2. 26 はしご車（30m級）購入
- 10. 14 （社）日本損害保険協会より救助工作車の寄贈を受ける。
- 10. 28 広報車購入

昭和63年(1988)

- 4. 12 三重県消防職員意見発表会にて最優秀賞を獲得する。
- 4. 21 東海支部消防職員意見発表会にて優秀賞を獲得する。
- 7. 27 消防救助技術東海地区指導会水上の部（溺者救助）にて入賞する。
- 8. 19 全国消防救助技術大会水上の部（溺者救助）にて入賞する。

平成元年(1989)

- 1. 24 救急車（2B型）購入
- 4. 18 菰野ライオンズクラブより広報車の寄贈を受ける。

平成2年(1990)

- 8. 2 消防救助技術東海地区指導会水上の部（溺者救助）にて入賞する。
- 8. 24 全国消防救助技術大会水上の部（溺者救助）にて入賞する。

平成4年(1992)

- 4. 10 三重県消防職員意見発表会にて最優秀賞を獲得する。
- 4. 23 東海支部消防職員意見発表会にて優秀賞を獲得する。

平成5年(1993)

- 12. 24 訓練塔敷地造成工事開始

平成6年(1994)

- 4. 1 菰野町職員定数条例（消防職員）改正（定数33名）
- 4. 8 三重県消防職員意見発表会にて最優秀賞を獲得する。
- 4. 27 東海支部消防職員意見発表会にて優秀賞を獲得する。

平成7年(1995)

- 2. 16 水槽付ポンプ車（水－I A型）購入
- 3. 18 訓練塔竣工式
- 12. 22 消毒室完成

平成8年(1996)

- 3. 18 （社）日本損害保険協会より高規格救急車の寄贈を受ける。
- 4. 22 緊急消防援助隊旗の伝達を受ける。
- 12. 13 指令車購入
- 12. 20 菰野町職員定数条例（消防職員）改正（定数40名）

平成9年(1997)

- 4. 1 菰野町防災行政無線による広報を開始
- 5. 15 救急救命士が誕生

平成10年(1998)

- 2. 4 ポンプ車（CD－I型）購入
- 4. 1 救急救命士業務運用開始
- 10. 15 携帯電話による119番通報受信業務を開始
- 11. 24 積載車購入

平成11年(1999)

- 1. 21 広報車購入
- 6. 2 救急救命士24時間体制開始
- 7. 27 消防救助技術東海地区指導会陸上の部（ロープブリッジ渡過）にて入賞する。
- 8. 19 全国消防救助技術大会陸上の部（ロープブリッジ渡過）に出場する。

平成12年(2000)

- 4. 14 三重県消防職員意見発表会にて優秀賞を獲得する。
- 4. 20 東海支部消防職員意見発表会にて優秀賞を獲得する。

平成13年(2001)

- 3. 7 高規格救急車購入
- 3. 10 新通信指令室の運用を開始

平成14年(2002)

- 4. 1 消防吏員服制規則改正

平成15年(2003)

- 8. 27 全国優良消防職員表彰を受賞する。
- 12. 6 救急医療功労者知事表彰を受賞する。

平成16年(2004)

- 4. 1 三重県防災航空隊へ職員1名を派遣(3年間)
- 9. 3～4 三重県緊急消防援助隊野営訓練及び合同訓練を菰野町で実施する。

平成17年(2005)

- 8. 3 救急救命士1名が気管内挿管講習及び実習修了
- 8. 8 携帯119番直接受信開始
- 10. 1 三重県内消防相互応援協定に基づく境界付近の応援に関する覚書を締結

平成18年(2006)

- 2. 22 高規格救急車購入
- 4. 1 緊急消防援助隊登録
- 7. 13 救急救命士1名が薬剤投与追加講習及び実習修了

平成19年(2007)

- 1. 30 水槽付ポンプ車(水-I A型)購入
- 7. 25 消防救助技術東海地区指導会陸上の部(ロープブリッジ渡過)にて入賞する。
- 8. 22 全国消防救助技術大会陸上の部(ロープブリッジ渡過)にて入賞する。

平成20年(2008)

- 3. 9 救急救命士3名が薬剤投与追加講習及び実習修了
- 3. 14 救助工作車(II型)購入
- 4. 11 三重県消防職員意見発表会にて最優秀賞を獲得する。
- 4. 17 東海支部消防職員意見発表会にて優秀賞を獲得する。
- 8. 28 全国優良消防職員表彰を受賞する。
- 12. 12 査察車購入

平成21年(2009)

- 4. 1 三重県消防学校教官として職員1名を派遣(3年間)
- 6. 25 救急救命士1名が薬剤投与追加講習及び実習修了
- 8. 1 Eメール119番通報運用開始
- 11. 30 耐震性貯水槽第1号完成

平成22年(2010)

- 4. 9 三重県消防職員意見発表会にて最優秀賞を獲得する。
- 4. 16 東海支部消防職員意見発表会にて優秀賞を獲得する。
- 12. 2 高規格救急車購入

平成23年(2011)

- 4. 27 火災時における消防活動業務の協力に関する協定を締結する。

平成24年(2012)

- 4. 1 菰野町職員定数条例(消防職員)改正(定数46名)
- 4. 1 三重県消防学校教官として職員1名を派遣(3年間)
- 4. 13 三重県消防職員意見発表会にて最優秀賞を獲得する。
- 4. 20 東海支部消防職員意見発表会にて優秀賞を獲得する。
- 8. 1 位置情報通知システム(統合型)導入
- 12. 27 広報車購入

平成25年(2013)

- 8. 21 全国優良消防職員表彰を受賞する。
- 11. 18 救急医療功労者知事表彰を受賞する。

平成26年(2014)

- 3. 24 はしご車（先端屈折式 30m級）購入
- 12. 5 ポンプ車（CD-I型CAFS付）購入

平成27年(2015)

- 1. 31 資機材搬送車購入
- 4. 1 救命サポート事業開始
- 4. 1 菰野町職員定数条例（消防職員）改正（定数58名）
- 8. 26 消防支援隊発足（35名）
- 11. 26 高規格救急車購入

平成28年(2016)

- 4. 1 三重北消防指令センター運用開始
- 4. 1 三重県防災航空隊へ職員1名を派遣(3年間)
- 7. 26 消防救助技術東海地区指導会陸上の部（ロープブリッジ渡過）にて入賞する。
- 8. 24 全国消防救助技術大会陸上の部（ロープブリッジ渡過）にて入賞する。

平成29年(2017)

- 3. 8 消防庁長官表彰永年勤続功労章を受章する。
- 11. 28 高規格救急車購入

平成30年(2018)

- 3. 7 消防庁長官表彰功労章を受章する。
- 6. 1 三重北消防指令センターにて多言語三者間同時通訳システム運用開始

令和元年(2019)

- 1. 31 三重県内高速道路等における消防相互応援協定を締結
- 8. 24 全国優良消防職員表彰を受賞する。
- 10. 1 三重北消防指令センターにてNet119緊急通報システム運用開始

令和2年(2020)

- 2. 28 小型動力ポンプ付水槽車（I型）購入
- 3. 4 消防功労者消防庁長官表彰において竿頭綬を受章する。
- 3. 15 消防庁長官表彰永年勤続功労章を受章する。

令和3年(2021)

- 3. 10 消防庁長官表彰永年勤続功労章を受章する。
- 5. 19 患者等搬送事業認定制度開始
- 7. 20 三重北消防指令センターにて119番映像通報システム運用開始

令和4年(2022)

- 1. 11 水槽付ポンプ車（II型）購入
- 3. 2 消防庁長官表彰永年勤続功労章を受章する。
- 7. 30 消防救助技術東海地区指導会陸上の部（ロープブリッジ渡過）にて入賞する。
- 8. 26 全国消防救助技術大会陸上の部（ロープブリッジ渡過）にて入賞する。

令和5年(2023)

- 3. 10 消防庁長官表彰永年勤続功労章を受章する。
- 4. 1 三重県消防学校教官として職員1名を派遣(3年間)

令和5年中の主な行事

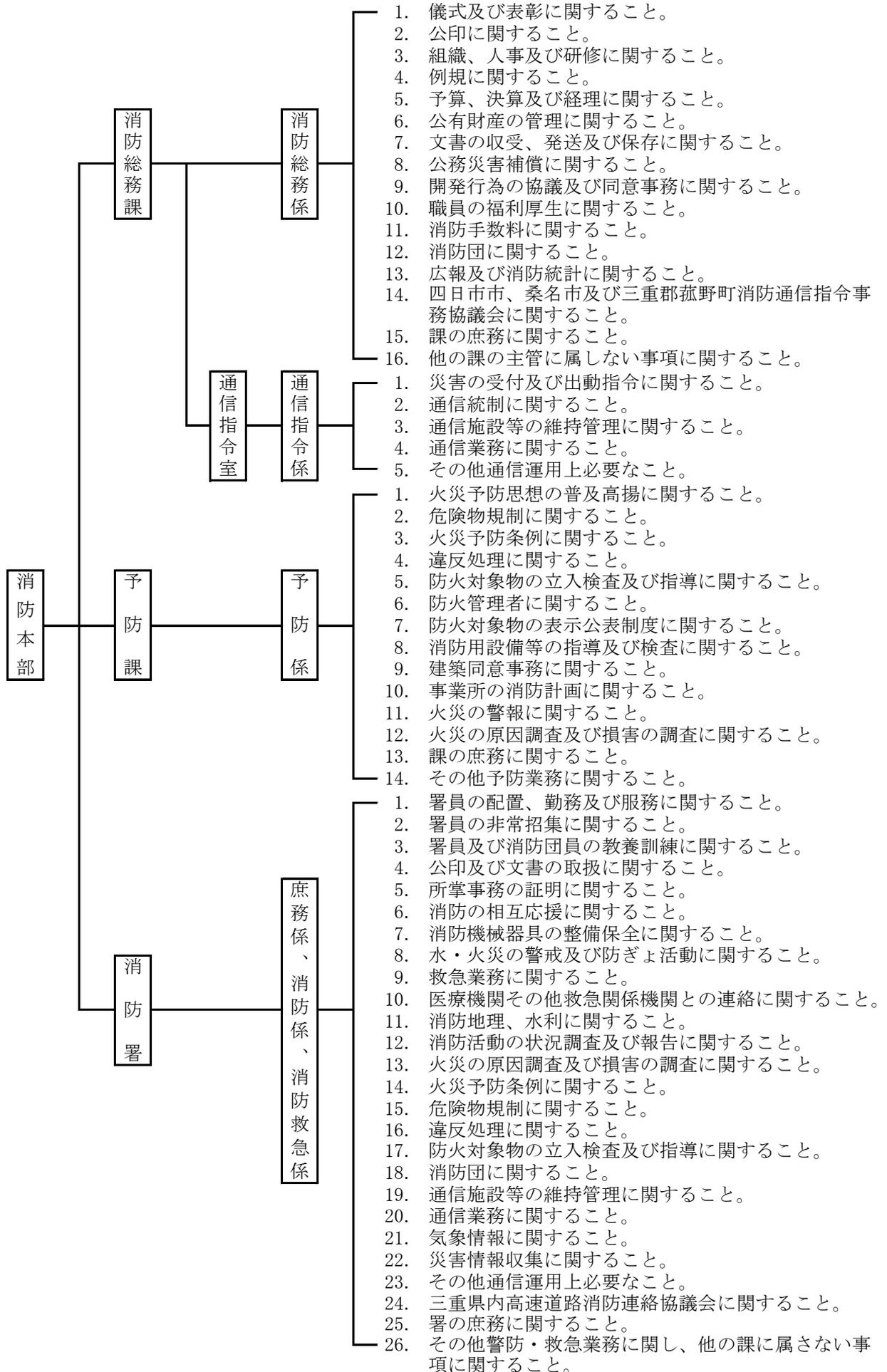
- 1. 8 消防出初式
- 1. 20 文化財防火運動に伴う特別消防訓練〔見性寺〕
- 2. 27 春の火災予防運動に伴う特別消防訓練〔株式会社 竹屋〕
- 2. 26 菰野町防火広報及び消防フェア〔イオンタウン菰野、町内一円〕
- 3. 1～ 3. 7 春の火災予防運動
- 4. 2 消防辞令交付式
- 5. 23 菰野町防火協会理事会総会〔千種地区コミュニティセンター〕
- 5. 28 菰野町水防訓練〔三滝川河川敷〕
- 5. 29 危険物安全週間に伴う特別消防訓練〔EneJet菰野町田口新田SS(株)谷口リテール販売〕
- 6. 4～ 6. 10 危険物安全週間
- 6. 25 菰野町消防団夏期訓練〔役場庁舎北駐車場〕
- 7. 27 消防救助技術東海地区指導会〔三重県消防学校〕
- 8. 27 菰野町民総ぐるみ総合防災訓練〔町内一円〕
- 8. 30～ 9. 5 防災週間
- 8. 31 防災週間に伴う特別消防訓練〔ホテル・ド・マロニエ湯の山温泉〕
- 9. 3～ 9. 9 救急医療週間
- 9. 23～ 9. 24 消防自動車写生大会〔消防本部〕
- 10. 20 三重県消防職員警防技術交換会〔三重県消防学校〕
- 10. 26 集団救急救護訓練〔消防本部〕
- 11. 9～11. 15 秋の火災予防運動
- 11. 12 秋の火災予防運動に伴う特別消防訓練〔大和ハウス工業(株)三重工場〕
- 12. 28～12. 30 年末特別警戒〔町内一円〕

歴代消防長

初代	大倉 二郎	自	昭和60年 4月 1日	至	昭和61年 3月31日
二代	田邊 正男	自	昭和61年 4月 1日	至	平成 3年 3月31日
三代	藤田 徹	自	平成 3年 4月 1日	至	平成 7年 3月31日
四代	石原 俊秀	自	平成 7年 4月 1日	至	平成11年 3月31日
五代	内田 芳隆	自	平成11年 4月 1日	至	平成13年 3月31日
六代	金津 正義	自	平成13年 4月 1日	至	平成16年 3月31日
七代	秦 隆	自	平成16年 4月 1日	至	平成18年 4月27日
八代	増田 幸生	自	平成18年 5月 1日	至	平成19年 3月31日
九代	川嶋 正典	自	平成19年 4月 1日	至	平成21年 3月31日
十代	内田 眞伸	自	平成21年 4月 1日	至	平成25年 3月31日
十一代	白木 康裕	自	平成25年 4月 1日	至	平成30年 3月31日
十二代	吉川 澄	自	平成30年 4月 1日	至	令和 3年 3月31日
十三代	山本 正春	自	令和 3年 4月 1日		現在に至る

消防本部、消防署の組織、機構及び事務分掌

令和 6. 4. 1現在



消防予算(当初額)

(千円)

年度 \ 区分	常備消防費	非常備消防費	消防施設費	水 防 費	合 計
令和2年度	536,732	40,864	77,013	50	654,659
令和3年度	535,782	39,326	135,414	50	710,572
令和4年度	550,995	42,731	61,760	50	655,536
令和5年度	551,542	40,502	70,597	50	662,691
令和6年度	568,334	49,149	56,607	50	674,140

一般会計予算に占める消防費の割合(当初額)

年度 \ 区分	一般会計予算 (千円)	消防予算 (千円)	比 率 (%)
令和2年度	13,460,000	654,659	4.9
令和3年度	13,310,000	710,572	5.3
令和4年度	13,300,000	655,536	4.9
令和5年度	13,660,000	662,691	4.9
令和6年度	15,280,000	674,140	4.4

消防費に対する人口、世帯当り額

年度 \ 区分	人 口 (人)	世 帯 (戸)	消防費 (千円)	人口1人当りの 消防費(千円)	1世帯当りの消防 費(千円)
令和2年度	41,610	16,666	654,659	16	39
令和3年度	41,670	16,903	710,572	17	42
令和4年度	41,390	16,964	655,536	16	39
令和5年度	41,189	17,126	662,691	16	39
令和6年度	40,931	17,281	674,140	16	39

消防力の整備指針と現有消防力の比較

(台)

車 両	消防力の整備指針による基準車両	基準数	現 有 車 両	現有数	比 較
	消 防 ポ ン プ 自 動 車	2	水槽付消防ポンプ自動車 消 防 ポ ン プ 自 動 車	2	0
	はしご付き消防自動車	1	はしご付き消防自動車	1	0
	化 学 消 防 自 動 車	1		0	△ 1
	救 急 自 動 車	3	高規格救急自動車(1) 高規格救急自動車(2) 高規格救急自動車(3)	3	0
	救 助 工 作 車	1	救 助 工 作 車	1	0
	指 揮 車	1	指 揮 車	1	0
	計	9	計	8	△ 1

(人)

人 員	消防力の整備指針による区分別算定		基準数	現有数	比 較	
	警 防 要 員	消 防 ポ ン プ 自 動 車 (1)	5人×3部制=15人	69	39	△ 30
		消 防 ポ ン プ 自 動 車 (2)	4人×3部制=12人			
		救 助 工 作 車	5人×3部制=15人			
		救 急 自 動 車 (1)	3人×3部制= 9人			
		救 急 自 動 車 (2)	3人×3部制= 9人			
		指 揮 車	3人×3部制= 9人			
		救 急 自 動 車 (3)	(兼 務 運 用)			
		はしご付き消防自動車	(乗 換 運 用)			
		化学消防自動車【未配備】				
通 信 員		3	3	0		
予 防 要 員		5	5	0		
そ の 他 の 人 員		4	10	6		
合 計			81	57	△ 24	

令和 6. 4. 1現在

職員階級別、所属別配置状況

令和 6. 4. 1現在

所属	階級	消 防 司令長	消防司令	消 防 司令補	消防士長	消 防 副士長	消防士	合 計
消防長、消防本部		1	1					2
消防本部消防総務課			5	3	1		1	10
消防本部予防課			2		2		1	5
消防署			3	12	6	6	12	39
町部局					1			1
合 計		1	11	15	10	6	14	57

職員階級別勤続年数状況

令和 6. 4. 1現在

勤続年数	階級	消 防 司令長	消防司令	消 防 司令補	消防士長	消 防 副士長	消防士	合 計
1年未満							1	1
1年							2	2
2年							3	3
3年							2	2
4年							3	3
5年								
6年						3	2	5
7年						1		1
8年			1				1	2
9年					1	1		2
10年					1			1
11年					2	1		3
12年								
13年					1			1
14年								
15年					1			1
16年				1				1
17年					1			1
18年					1			1
19年								
20年				2				2
21年				1				1
22年				1				1
23年			1	1	1			3
24年								
25年				2				2
26年				2				2
27年			1	2				3
28年								
29年								
30年			3	2				5
31年				1				1
32年			1					1
33年								
34年								
35年								
36年			2					2
37年								
38年								
39年		1	2		1			4
合 計		1	11	15	10	6	14	57

職員階級別年齢状況

令和 6. 4. 1現在

年齢 \ 階級	消防司令長	消防司令	消防司令補	消防士長	消防副士長	消防士	合計
19歳						1	1
20歳						1	1
21歳						3	3
22歳						2	2
23歳						1	1
24歳						1	1
25歳						1	1
26歳						3	3
27歳						1	1
28歳					3		3
29歳					2		2
30歳							
31歳					1		1
32歳				2			2
33歳				1			1
34歳				1			1
35歳				2			2
36歳							
37歳				2			2
38歳			2				2
39歳			1				1
40歳							
41歳				1			1
42歳			2				2
43歳			1				1
44歳							
45歳			1				1
46歳			1				1
47歳			1				1
48歳			3				3
49歳			2				2
50歳			1				1
51歳		2					2
52歳		2					2
53歳							
54歳		2					2
55歳		1					1
56歳							
57歳							
58歳		1					1
59歳	1	3					4
60歳							
61歳							
62歳							
63歳				1			1
合計	1	11	15	10	6	14	57

平均年齢 38.7 歳

消防本部(署)庁舎の概要

令和 6. 4. 1現在

所在地	三重県三重郡菰野町大字潤田4418番地 (敷地面積:5,039.21㎡)					
区分	庁舎	仮設庁舎	訓練棟			車庫棟
	消防署	消防本部	主塔	副塔	倉庫棟	車庫棟
建設年	昭和60年竣工	平成26年竣工	平成7年竣工	平成7年竣工	平成7年竣工	令和2年竣工
構造	RC2階建	鉄骨2階建	RC4階建	鉄骨3階建	鉄骨2階建	鉄骨平屋建
建築面積	537.7㎡	114.4㎡	39.4㎡	38.6㎡	87.6㎡	53.4㎡
延床面積	858.4㎡	226.8㎡	129.6㎡	94.3㎡	175.2㎡	53.4㎡
1 F	528.1㎡	113.4㎡	32.4㎡	32.7㎡	87.6㎡	53.4㎡
2 F	309.3㎡	113.4㎡	32.4㎡	32.7㎡	87.6㎡	
3 F	(P.H)21.0㎡		32.4㎡	28.9㎡		
4 F			32.4㎡			

現有消防車両

令和 6. 4. 1現在

車種	区分	車名	規格等	登録番号	登録年月日	排気量 (cc)	車両総重量 (kg)	免許区分
はしご車		日野	30m級	三重800は1877	H26. 3. 19	8,860	19,120	大型
救助工作車		日野	II型	三重800は1347	H20. 3. 13	7,680	12,000	大型
水槽付ポンプ車		日野	水-II型 (災害対応)	三重830す2201	R 4. 1. 7	5,120	11,700	大型
小型動力ポンプ付水槽車		日野	I型	三重830と2002	R 2. 2. 27	5,120	12,655	大型
ポンプ車		日野	CD-I型 (CAFS付)	三重800せ 6	H26. 12. 4	4,000	6,755	準中型
救急1号車		日産	高規格 (災害対応)	三重830す2402	R 6. 2. 26	2,480	3,305	普通
救急2号車		日産	高規格	三重830す1711	H29. 11. 17	3,490	3,385	普通
救急3号車		日産	高規格	三重830せ1511	H27. 11. 17	3,490	3,395	普通
査察車		トヨタ	ワゴン	三重800す5463	H20. 12. 11	1,980	2,100	普通
広報車		トヨタ	ワゴン	三重800す8616	H24. 12. 27	2,690	2,670	普通
資機材搬送車		いすゞ	2t積	三重800せ 127	H27. 1. 29	2,990	4,905	準中型
事務連絡車		トヨタ	ワゴン	三重500ゆ8563	H15. 5. 22	1,990	1,920	普通
救急予備車		日産	高規格	三重830す7167	H22. 12. 2	3,490	3,235	普通

通信施設状況

令和 6. 4. 1現在

	種類	数量	備考
菰野町消防本部、消防署	車載移動無線局 (デジタル)	12局	菰野波1~2、四日市波1~4、桑名波1~3、統制波1~3 主運用波、消防団波 ※広域応援用：主運用波1~6
	携帯移動無線局 (デジタル)	16局	菰野波1~2、四日市波1~4、桑名波1~3、統制波1~3 主運用波、消防団波 ※広域応援用：主運用波1~6
	消防団車載移動無線局 (デジタル)	11局	菰野波2、消防団波
	消防団携帯移動無線局 (デジタル)	11局	菰野波2、消防団波
	半固定無線局 (デジタル)	4局	こもの200【卓上型】 こもの201【可搬型】 こもの202【卓上型】 こもの203【卓上型】 役場災害対策室設置 菰野波1~2、四日市波1~4、桑名波1~3、統制波1~3 主運用波、消防団波 ※広域応援用：主運用波1~6
	消防救急デジタル無線基地局 (活動波)	1局	活動波：みえきたしれいこもの(菰野波1~2) 【通信所】こものしょうぼう
	三重県消防救急デジタル無線基地局 共通波(菰野中継所)	1局	みえきょうつうこもの(主運用波、統制波1~3) 【通信所】こものしょうぼう
	三重県防災行政無線局	3局	衛星局、地上局、可搬型衛星地球局
	携帯移動無線局 (署活動用携帯型)	36局	こもの310~339、341~343、こもの300~302 署活1~2、消防団波
	デジタル簡易無線局 (携帯型)	15台	
	車両運用端末装置Ⅲ型 (AVM)	11台	ドコモFOMA回線
	職員招集メール発信システム	1式	
	菰野町行政情報メール発信システム	1式	
	指令センター用内線電話機	1回線	三重北消防指令センター連絡用
	駆付け通報装置	1回線	三重北消防指令センターへ直接通報用(玄関前に設置)
	一般加入電話	2回線 4ch	
	F A X	1回線 2ch	一般用、福祉用
	救急車積載携帯電話	5台	
	携帯電話	3台	本部1、署2
	ドローン通信用資機材	1台	
三重北消防指令センター	報知電話(119)	7回線 14ch	固定電話、携帯電話、IP電話
	F A X 1 1 9	1台	
	N e t 1 1 9	2台	
	119番映像通報システム	1式	
	順次指令装置	6回線 12ch	指令台連動
	消防テレフォンガイド	1回線 2ch	指令台連動 NTTひかりにより同時に3回線受信可能
	指令メール	1式	火災指令メール
	多言語三者間同時通訳システム	1回線	通訳センターを介した多言語三者間同時通訳
ケーブルテレビ消防情報	1ch		

※三重北消防指令センターは菰野町消防本部、四日市市消防本部及び桑名市消防本部が消防通信指令事務を共同運用しています。

消防水利状況

令和 6. 4. 1現在

水 利		地 区	菰 野	鵜川原	竹 永	朝 上	千 種	合 計
消 火 栓	管 径 50 mm 以下		5		1		2	8
	管 径 75 mm		172	81	101	123	112	589
	管 径 100 mm		151	44	38	113	75	421
	管 径 150 mm 以上		160	63	37	85	82	427
	合 計		488	188	177	321	271	1,445
防 火 水 槽	容 量 20 m ³ 未 満		3		2	7	2	14
	容 量 20 m ³ 以上 40 m ³ 未 満		21	3	7	12	4	47
	容 量 40 m ³ 以 上		4	1	1	3	8	17
	耐 震 性 貯 水 槽 40 m ³		7	1	1	2	2	13
	耐 震 性 貯 水 槽 100 m ³		1	1	1	1	1	5
	プ ー ル		4	1	1	2	1	9
	合 計		40	7	13	27	18	105
自 然 水 利	河 川		51	17	13	74	63	218
	池		8	2	3	17	11	41
	合 計		59	19	16	91	74	259

各種研修実施状況

内 容	区 分	延 時 間	延 人 数	回 数
法 学 一 般		7	83	9
地 理 及 び 水 利		336	273	102
火 災 予 防		118	255	76
勤 務 要 綱		134	220	78
消 防 行 動		13	118	14
消 防 戦 術		83	160	36
消 防 機 械		351	1,403	293
実 施 訓 練		1,183	3,207	507
訓 練 礼 式		28	173	19
救 急 学		1,692	1,035	408
体 育		90	2,796	328

外部研修等派遣状況

令和5年度

派遣	区分	科 目	期 間	人員
救急救命士研修所		救急救命士新規養成研修（東京研修所第65期）	R5. 9. 12～R6. 3. 11	1
消 防 大 学 校		幹部科（第76期）	R6. 1. 21～R6. 3. 1	1
消 防 学 校		初任科（第60期）救急科 救急課程（第26期）	R5. 4. 10～R5. 12. 1	2
		特別科 指導救命士課程（第5期）	R5. 6. 5～R5. 6. 16	1
		救助科 救助課程（第33期）	R5. 9. 6～R5. 10. 6	1
		特殊災害科 特殊災害課程（第10期）	R5. 12. 7～R5. 12. 15	1
		警防科 警防課程（第35期）	R6. 1. 29～R6. 2. 9	1
		特別科 救急救命士ブラッシュアップ講習	R6. 2. 6～R6. 2. 8	1
		中級幹部科（第31期）	R6. 2. 14～R6. 2. 22	1
		特別科 指揮課程（第11期）	R6. 2. 26～R6. 3. 1	1
	火災調査科 火災調査課程（第20期）	R6. 2. 26～R6. 3. 8	1	
警 防		JTF FFSレベル2	R5. 6. 11～R5. 6. 12	1
救 急		PEMECコース(救急隊員による疾病の観察処置の標準化)	R5. 7. 1	1
		MCLSコース(多数傷病者対応研修)	R5. 7. 8・R6. 1. 21	2
		JPTECプロバイダーコース（外傷病院前救護研修）	R5. 7. 30	3
		三重県臨床工学セミナー初級心電図	R5. 9. 24	2
		MIELS（メディカルラリー）	R5. 10. 7	1
		新生児蘇生法講習会Pコース・病院前コース	R5. 11. 19	1
		PCECコース（意識障害病院前救護研修）	R5. 11. 20	2
		全国救急隊員シンポジウム	R6. 2. 1～R6. 2. 2	1
		ISLSプロバイダーコース（神経救急蘇生研修）	R6. 2. 4	1
救 助		SRT1	R5. 4. 19～R5. 4. 21	1
		全国山岳遭難対策協議会	R5. 7. 7	1
		アリゾナボーテックスフレーム講習	R5. 7. 14～R5. 7. 15	1
		テクニカルロープレスキューテクニシャン	R5. 7. 18～R5. 7. 20	1
		山岳遭難救助研修会	R5. 10. 2～R5. 10. 6	1
		全国消防救助シンポジウム	R5. 12. 14	1
		アドバンスドロープレスキュー3	R5. 12. 15	1
予 防		調査技術会議	R5. 6. 22	1
		予防技術講習会	R5. 8. 4	1
		火災調査研究発表会	R5. 10. 10	2
		消防法令違反是正事例発表会	R5. 10. 19	1
		製品安全業務報告会（web）	R5. 11. 1～R5. 11. 30	1
		火災科学セミナー	R5. 11. 10	1
		消防及び警察機関事故原因究明技術研修会	R5. 12. 8	1
		企業防災対策指導研修会	R6. 2. 1～R6. 2. 28	1
	危険物事故事例セミナー	R6. 3. 6	1	
通 信 指 令		三重県通信指令員救急教育	R5. 7. 5～R5. 7. 6	1
		第6回通信指令シンポジウム	R6. 3. 16	1
そ の 他		大型自動車免許取得	R5. 5. 15～R5. 9. 19	2

応急手当普及啓発活動実施状況

菰野町消防本部では平成7年度から応急手当の普及啓発活動実施要綱に基づく普及活動を実施しており、止血法や固定法などを学ぶ救急講習、心肺蘇生法とAEDの取り扱い方法を学ぶ普通救命講習、各区や事業所などで普通救命講習を開催できる指導者を養成する応急手当普及員講習などを開催しています。

令和2年度～4年度は新型コロナウイルス感染症の影響により実施回数が減少となっています。

年度	救急講習		普通救命講習		応急手当普及員講習	
	回数	受講者数	回数	修了者数	回数	修了者数
平成7年度	10	351	5	93		
平成8年度	16	330	7	78		
平成9年度	18	384	10	130		
平成10年度	12	310	8	90		
平成11年度	14	942	8	142		
平成12年度	14	382	11	206		
平成13年度	9	257	13	151		
平成14年度	9	396	24	408		
平成15年度	14	592	13	197		
平成16年度	17	828	16	263		
平成17年度	9	1,094	33	480	1	12
平成18年度	15	734	59	840	5	60
平成19年度	16	461	60	989	3	57
平成20年度	4	226	71	1,013	4	72
平成21年度	11	262	44	592	3	45
平成22年度	7	302	35	512	2	38
平成23年度	9	319	45	699		
平成24年度	11	468	39	628	2	26
平成25年度	6	276	37	571	1	29
平成26年度	17	459	45	564	3	28
平成27年度	21	526	47	636	3	42
平成28年度	12	427	42	555	3	19
平成29年度	17	671	45	577	3	17
平成30年度	8	172	40	541	3	22
令和元年度	16	249	37	480	2	11
令和2年度	3	37	12	66	6	26
令和3年度	1	20	21	74	2	3
令和4年度	12	270	24	178	2	2
令和5年度	24	464	28	237	1	3
合計	352	12,209	879	11,990	49	512

自主防災組織

令和 6. 4. 1現在

(1) 婦 人 消 防 隊	}	菰野地区婦人消防隊 (昭和43年4月21日結成 374 人)
		鵜川原地区婦人消防隊 (昭和40年3月20日結成 73 人)
		竹永地区婦人消防隊 (昭和58年6月 1日結成 72 人)
		朝上地区婦人消防隊 (昭和42年4月 1日結成 123 人)
		千種地区婦人消防隊 (昭和57年4月21日結成 123 人)
<u>合計 5 隊 総員 765 人</u>		

(2) 自 警 団
合計 32 団 総員 672 人

菰 野 地 区	}	神 明 区 (14 人)
		菰 野 第 一 区 (37 人)
		菰 野 第 三 区 (138 人)
		宿 野 区 (18 人)
		福 村 区 (10 人)
		神 森 区 (14 人)
<u>計 6 団 総員 231 人</u>		

鵜 川 原 地 区	}	大 強 原 区 (14 人)
		下 村 区 (15 人)
		川 北 区 (15 人)
		池 底 区 (12 人)
		吉 沢 区 (10 人)
		諏 訪 区 (9 人)
<u>計 6 団 総員 75 人</u>		

竹 永 地 区	}	竹 成 区 (17 人)
		永 井 区 (37 人)
<u>計 2 団 総員 54 人</u>		

朝 上 地 区	}	榑 区 (13 人)
		松 涛 園 区 (13 人)
		小 島 区 (17 人)
		田 口 新 田 区 (19 人)
		美 山 区 (23 人)
		田 口 区 (9 人)
		日 丘 区 (21 人)
		切 畑 区 (5 人)
		一 本 木 団 地 (9 人)
		青 葉 台 区 (8 人)
<u>計 10 団 総員 137 人</u>		

千 種 地 区	}	千 草 区 (20 人)
		音 羽 区 (10 人)
		潤 田 区 (34 人)
		三 滝 園 区 (40 人)
		岡 区 (9 人)
		福 松 区 (17 人)
		奥 郷 区 (10 人)
		江 野 区 (35 人)
<u>計 8 団 総員 175 人</u>		

緊急避難所

令和6.4.1現在

区名	名称	所在地	電話番号	収容人数
神明	グリーンホテル	大字千草7054-173	059-392-3111	40
	神明区公会所	大字菰野8475-22		32
大羽根園	大羽根園自治会公会所	大羽根園並木通4	059-394-1884	62
菰野第一区	菰野第一区第一公会所	大字菰野9007	059-393-2116	29
菰野第二区	菰野第二区公民館	大字菰野2203-1	059-394-0940	80
菰野第三区	南部公民館	大字福村148		128
	第三区民栄会館	大字菰野1419-8	059-394-0986	50
	川原町集会所	大字菰野1778		18
宿野	宿野公会所	大字宿野230-1	059-394-0913	65
福村	福村公会所	大字福村272	059-394-2744	56
神森	神森集落センター	大字神森705	059-394-1984	33
大強原	大強原公会所	大字大強原3482-1	059-394-6237	47
下村	下村公会所	大字下村2166-3		48
川北	川北公会所	大字川北563	059-393-2074	81
池底	池底集落センター	大字池底1152	059-394-1127	41
吉沢	吉沢集落センター	大字吉沢1792-2		44
諏訪	諏訪公会所	大字諏訪3822	059-394-2904	63
竹成	竹成区公会堂	大字竹成2116	059-396-1880	78
永井	永井集落センター	大字永井3832	059-396-1707	34
田光	田光公会堂	大字田光2066	059-396-0127	90
杉谷	杉谷公会所	大字杉谷776-1	059-396-2319	66
榊	榊公会所	大字榊303		16
松涛園	松涛園公会所	大字小島417-185		36
小島	小島集落センター	大字小島1687-1		33
田口新田	田口新田公会所	大字田口新田2256		42
美山	美山区公会所	大字田口新田232-32		13
田口	田口公会所	大字田口2495		56
日丘	日丘区公会所	大字田口新田117-66		16
切畑	切畑公会所	大字切畑578-8		12
根の平	根の平公会所	大字根の平114-1		10
一本木団地	一本木公会所	大字榊895-44		24

区名	名称	所在地	電話番号	収容人数
青葉台	青葉台公会所	大字杉谷1572-187		39
	(株)マキテック三重工場	大字千草4633-9		87
千草	千草公会所	大字千草2763		50
	千草区区民センター	大字千草2510		26
音羽	音羽公会所	大字音羽585-1		31
潤田	潤田集落研修センター	大字潤田499	059-394-1430	79
三滝園	三滝園公会所	大字潤田650-177		26
岡	岡公民館	大字千草4127-10	059-393-4193	56
福松	福松構造改善センター	大字千草5364-16	059-394-5194	42
奥郷	奥郷構造改善センター	大字千草6368-2	059-394-3773	43
江野	江野区公会所	大字千草7045-897	059-392-2105	37

収容人員＝有効スペース3㎡×1人

風水害時における緊急避難所を補完する施設

地区名	名称	所在地	電話番号	収容人数
菰野地区	菰野地区 コミュニティセンター	大字菰野1418	059-394-5333	21
朝上地区	朝上地区 コミュニティセンター	大字田光4291	059-396-0001	22
千種地区	千種地区 コミュニティセンター	大字千草3851	059-393-2052	18

収容人員＝有効スペース(和室) 3㎡×1人

※緊急避難所を補完する施設とは、緊急避難所で受け入れ出来ない避難者及びキャンプ場宿泊者等を受け入れる場合に利用する。

収容避難所

地区名	名称	所在地	電話番号	収容人数
菰野地区	菰野町B&G海洋センター	大字菰野4775-1	059-394-3177	381
	菰野小学校	大字菰野1490	059-393-2006	288
	菰野中学校	大字菰野1192	059-393-2122	357
	菰野高等学校	大字福村870	059-393-1131	382
鵜川原地区	鵜川原小学校	大字大強原913	059-393-2118	183
竹永地区	竹永小学校	大字竹成2593-5	059-396-0009	198
朝上地区	朝上小学校	大字田光66	059-396-0004	294
	八風中学校	大字田光3808-18	059-396-0012	338
千種地区	千種小学校	大字千草3861	059-394-2590	333

収容人員＝体育館等3㎡×1人

収容避難所を補完する施設

地区名	名称	所在地	電話番号	収容人数
菰野地区	菰野こども園	大字菰野2098	059-393-2135	27
	菰野西こども園	大字菰野8870	059-394-0884	54
	菰野幼稚園 菰野東保育園	大字菰野1485	059-393-1179	78
鶉川原地区	鶉川原幼稚園 鶉川原保育園	大字大強原829-1	059-393-2405	38
竹永地区	竹永幼稚園 竹永保育園	大字永井59	059-396-0527	56
朝上地区	朝上幼稚園 朝上保育園	大字田光3306-2	059-396-0114	44
	北部子ども子育て支援拠点施設	大字田光4293	059-396-0707	41
千種地区	千種幼稚園 千種保育園	大字音羽2240	059-393-2406	58

※収容避難所を補完する施設とは、収容避難所の収容能力を超える被災者を受け入れる場合に利用する、隣接の保育園、幼稚園、こども園等である。

消防団



菰野町で発生する災害には消防団の協力が必要不可欠であり、災害から町民を守るため、消防団は訓練を積み重ねています。また、消防団の活動には部隊行動が必須であり、各消防団が規律ある行動と迅速な消防技術の向上のため、夏期訓練を実施しました。

菰野町消防団夏期訓練

令和5年6月25日

於：菰野町役場北駐車場

消防団

消防団は郷土愛の精神に基づき、地域に密着した防災活動機関として地震、風水害、火災等の災害時には町民の生命財産の保護等消防防災活動に当たるとともに、平時には火災予防広報、防災指導等に従事し、地域防災上重要な役割を果たしています。

令和5年中における主な活動は、火災件数15件の内、消防団の出動は11回、延べ出動人員279人。その他に出初式、各種訓練、警戒、警備等に出動し活躍しています。

菰野町消防団の沿革

明治27年	消防制度が統一され、当時の菰野村、鶴川原村、竹永村、朝上村、千種村の5村に消防組が組織される。
昭和 3年	町制施行により菰野村が菰野町となる。
昭和14年	警察消防体制の確立により5町村の消防組が警防団に改められる。
昭和23年	消防組織法の施行により5町村の警防団が消防団として組織される。
昭和30年 4月	町村合併促進法の制定により朝上村と千種村が合併し、朝明村となり朝明村消防団が組織される。
昭和31年 9月	菰野町と鶴川原村、竹永村が合併し菰野町となり、菰野町消防団、朝明村消防団の2団となる。
昭和32年 1月	菰野町と朝明村が合併し菰野町となり、同時に菰野町消防団（団員数 159名）に統一、菰野分団、鶴川原分団、竹永分団、朝上分団、千種分団の5分団で組織される。
昭和41年 7月	湯の山地区自警団が湯の山分団となり、全6分団となる。
昭和43年 1月	菰野町役場に本部班が設置される。
昭和58年 4月	本部班が本部分団となり、全7分団となる。
昭和58年 7月	三重県消防操法大会に本部分団が出場し、優勝する。
昭和59年 7月	三重県消防操法大会に朝上分団が出場し、優勝する。
平成 2年10月	全国消防操法大会に朝上分団が出場し、優良賞を獲得する。
平成 6年10月	全国消防操法大会に菰野分団が出場し、敢闘賞を獲得する。
平成 9年 2月	第49回日本消防協会定例表彰式において特別表彰「まとい」を受章する。
平成 9年 8月	三重県消防操法大会に鶴川原分団が出場し、敢闘賞を獲得する。
平成18年 7月	三重県消防操法大会に竹永分団が出場し、準優勝する。
平成26年11月	全国消防操法大会に朝上分団が出場し、敢闘賞を獲得する。
令和 2年 3月	消防功労者消防庁長官表彰において竿頭綬を受章する。

歴代消防団長(合併以降)

初代	服部 幸太郎	自	昭和32年 1月 15日	至	昭和52年 4月 1日
二代	伊藤 正一	自	昭和52年 6月 15日	至	昭和55年12月31日
三代	谷 善一	自	昭和56年 1月 1日	至	昭和58年12月31日
四代	辻 収	自	昭和59年 1月 1日	至	平成 7年 2月28日
五代	白木 一	自	平成 7年 3月 1日	至	平成17年 3月31日
六代	小林 幸治	自	平成17年 4月 1日	至	平成29年 3月31日
七代	増田 富雄	自	平成29年 4月 1日	至	平成29年11月21日
八代	服部 卓美	自	平成30年 1月 1日	現在に至る	

消防団の機構、団員数

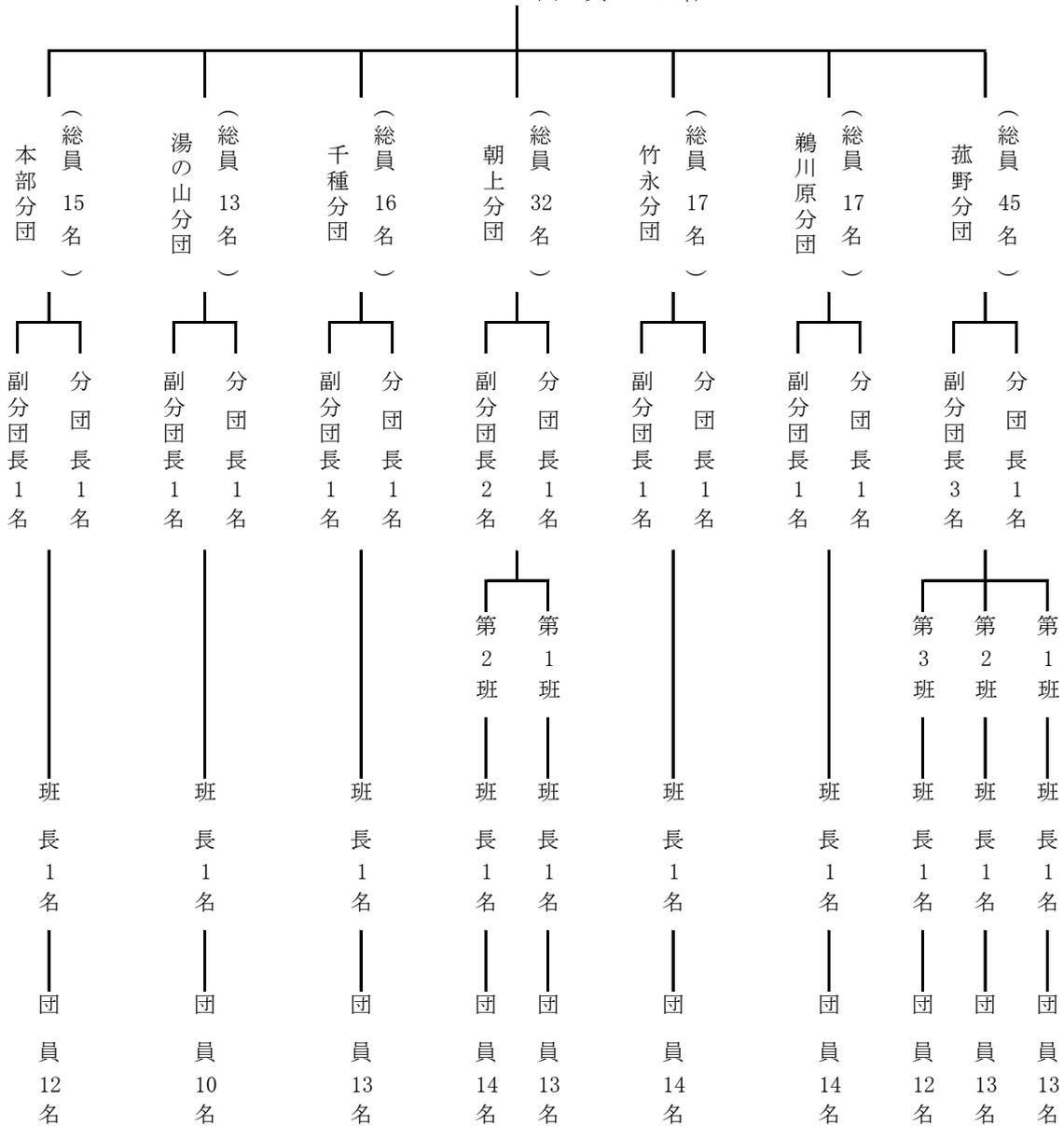
令和 6. 4. 1現在

菰野町消防団 分 団 数 7 分 団 (10 班)
 団 員 定 数 168 名
 現 有 団 員 数 159 名

菰野町消防団

(総員 159 名)

消防団本部
 団 長 1 名
 副 団 長 2 名
 団 員 1 名



年齢別、階級別消防団員数

令和 6. 4. 1現在

年齢 \ 階級	団 長	副団長	分団長	副分団長	班 長	団 員	合 計
18歳～20歳						2	2
21歳～25歳						12	12
26歳～30歳						27	27
31歳～35歳				3	3	38	44
36歳～40歳			2	2	5	31	40
41歳～45歳			1	3	2	14	20
46歳～50歳			2	2		2	6
51歳～55歳			2				2
56歳～60歳		1				3	4
61歳～65歳	1	1					2
合 計	1	2	7	10	10	129	159

平均年齢 35.4 歳

在職年数別消防団員数

令和 6. 4. 1現在

在 職 年 数	5年未満	5年以上 10年未満	10年以上 15年未満	15年以上 20年未満	20年以上 25年未満	25年以上 30年未満	30年以上	合 計
団 員 数	43	49	33	20	8	1	5	159

消防団員報酬

令和 6. 4. 1現在

階 級	団 長	副団長	分団長	副分団長	班 長	団 員
年 間 報 酬 額 (円)	186,000	128,000	105,000	87,000	76,000	70,000

消防団員出動報酬

令和 6. 4. 1現在

項 目	災害出動	訓 練	警 戒	ポンプ点検等	車両検査	立入検査
1 日 当 り の 報 酬 (円)	8,000	2,000	1,000	700	700	5,000

※災害出動については活動時間が4時間未満の場合は2分の1の額とする。

消防団員職業別構成数

令和 6. 4. 1現在

職 業	自営業	会社員	公務員	その他 (役員等)	合計
人 数	17	97	38	7	159

消防団消防車両配置状況

令和 6. 4. 1現在

分団名	区分	車 名	規格等	登 録 番 号	登録年月日	排気量 (cc)	車両総重量 (kg)	免 許 区 分
	菰野分団第1班		いすゞ	CD-I	三重800す 715	H17. 2. 9	4, 770	4, 460
菰野分団第2班		いすゞ	CD-I	三重800す7276	H23. 2. 14	2, 990	4, 730	準中型
菰野分団第3班		いすゞ	CD-I	三重800さ9007	H15. 12. 15	4, 770	4, 320	準中型
鶺川原分団		いすゞ	CD-I	三重800す5567	H21. 2. 3	2, 990	4, 620	準中型
竹 永 分 団		日野	CD-I	三重830さ4047	R 4. 2. 10	4, 000	4, 750	準中型
朝上分団第1班		いすゞ	CD-I	三重800す4668	H20. 2. 6	2, 990	4, 440	準中型
朝上分団第2班		いすゞ	CD-I	三重800さ7399	H14. 12. 16	4, 770	4, 690	準中型
千 種 分 団		いすゞ	CD-I	三重800さ5820	H13. 12. 18	4, 570	4, 410	準中型
湯 の 山 分 団		いすゞ	CD-I	三重830な1212	R 5. 3. 13	2, 990	4, 950	準中型
本 部 分 団		いすゞ	CD-I	三重830せ1702	H29. 2. 22	2, 990	4, 900	準中型
団 本 部		日産	付積	三重800せ 280	H27. 3. 26	2, 480	3, 220	普通
		トヨタ	付積	三重830な2002	R 2. 2. 21	2, 980	3, 160	普通
		日産	ワゴン	三重502ふ2380	H26. 11. 27	1, 590	1, 735	普通

※付積＝小型動力ポンプ付積載車

予 防



火災を予防することは菰野町民の命、財産を守ることに繋がります。その為には、町民に火災予防について知ってもらい、興味を持って頂く必要があります。消防本部、消防団は町民一人ひとりの火災予防に対する意識向上のため様々なイベントを実施しています。

菰野町防火広報及び消防フェア

令和5年2月26日

於：イオンタウン菰野、町内一円

予 防

消防のなかで火災等の災害を未然に防止することも重要な仕事のひとつです。一般家庭に対しては、行事、講習会等を通じ防火意識の普及高揚を図るとともに、事業所に対しては危険物の取扱い、消防用設備等の設置、維持、管理等について指導を行っています。

防火対象物現況

用 途		令和6.4.1現在			令和5.4.1現在			
		4階未満	4階以上	合 計	4階未満	4階以上	合 計	
1	イ	劇場、映画館、演芸場、観覧場						
	ロ	公会堂又は集会場	38		38	38	38	
2	イ	キャバレー又はナイトクラブ						
	ロ	遊技場 ダンスホール	4		4	4	4	
	ハ	性風俗関連特殊営業を営む店舗等						
	ニ	カラオケボックス等	1		1	1	1	
3	イ	待合、料理店						
	ロ	飲食店	42		42	38	38	
4		百貨店、マーケット又は店舗	64		64	65	65	
5	イ	旅館、ホテル、宿泊所	24	10	34	21	10	31
	ロ	寄宿舎、下宿又は共同住宅	251	15	266	256	15	271
6	イ	病院、診療所又は助産所	18	2	20	17	2	19
	ロ	老人短期入所施設等	18	4	22	18	4	22
	ハ	老人デイサービスセンター等	31		31	25		25
	ニ	幼稚園又は特別支援学校						
7		小学校、中学校、高等学校、各種学校	36	2	38	37	2	39
8		図書館、博物館、美術館	4		4	4		4
9	イ	蒸気浴場、熱気浴場						
	ロ	イ以外の公衆浴場	3		3	3		3
10		車両の停車場	2		2	2		2
11		神社、寺院、教会	42		42	40		40
12	イ	工場又は作業場	189	7	196	176	6	182
	ロ	映画スタジオ又はテレビスタジオ						
13	イ	自動車車庫又は駐車場	24		24	20		20
	ロ	飛行機又は回転翼航空機の格納庫						
14		倉庫	119	3	122	108	3	111
15		前各項に該当しない事業場	142	4	146	133	4	137
16	イ	特定複合用途防火対象物	44	1	45	44	1	45
	ロ	イ以外の複合用途防火対象物	26	3	29	25	3	28
合 計			1,122	51	1,173	1,075	50	1,125

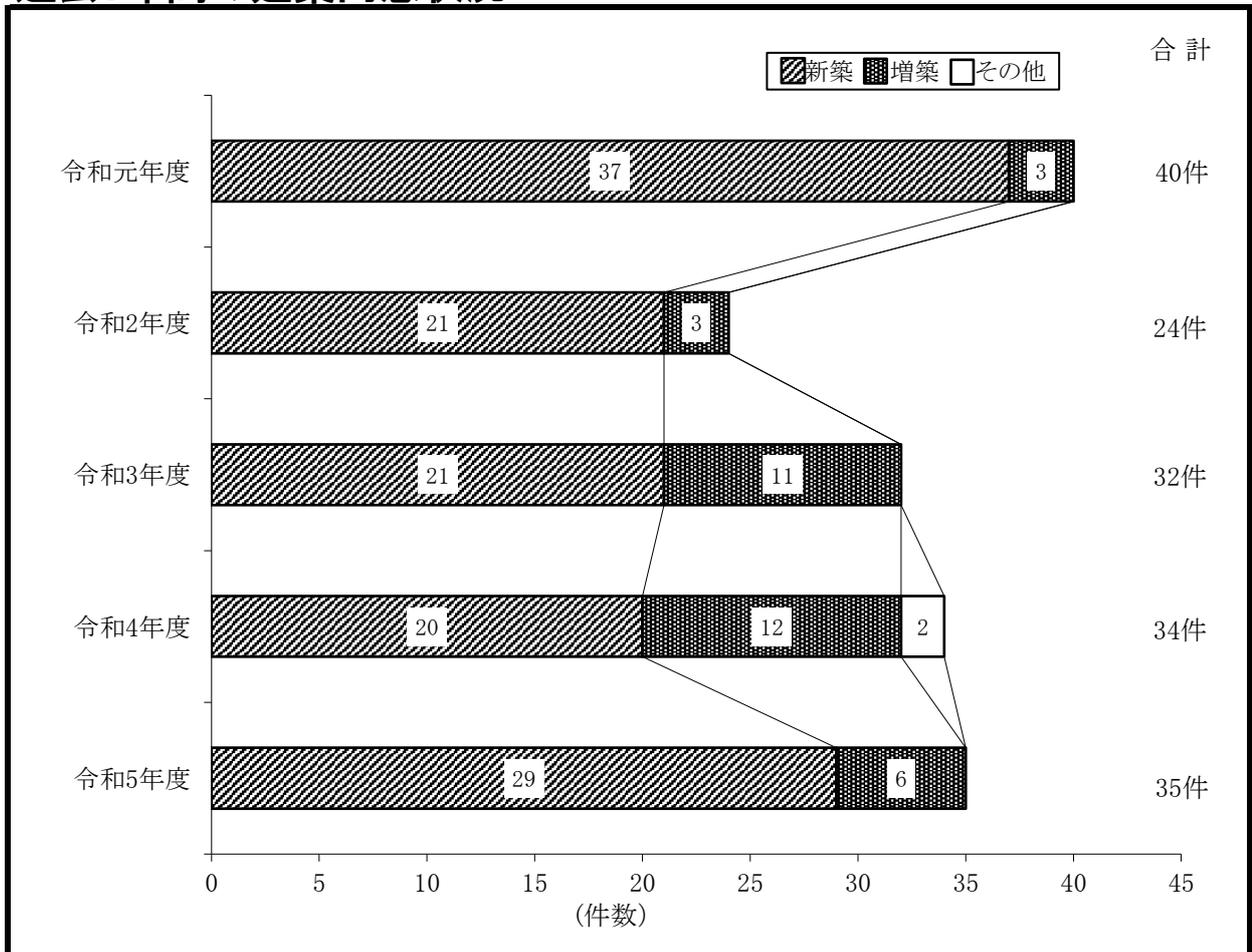
用途別建築同意状況

用 途		月 別												5年度 合 計	4年度 合 計		
		4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3				
1	イ	劇場、映画館、演芸場、観覧場															
	ロ	公会堂又は集会場															
2	イ	キャバレー又はナイトクラブ															
	ロ	遊技場 ダンスホール															
	ハ	性風俗関連特殊営業を営む店舗等															
	ニ	カラオケボックス等															
3	イ	待合、料理店															
	ロ	飲食店							1								1
4		百貨店、マーケット又は店舗		1										1			2
5	イ	旅館、ホテル、宿泊所				1											1
	ロ	寄宿舎、下宿又は共同住宅						1									1
6	イ	病院、診療所又は助産所		1						1	1						3
	ロ	老人短期入所施設等															
	ハ	老人デイサービスセンター等	3														3
	ニ	幼稚園又は特別支援学校															
7		小学校、中学校、高等学校、各種学校															2
8		図書館、博物館、美術館															
9	イ	蒸気浴場、熱気浴場															
	ロ	イ以外の公衆浴場															
10		車両の停車場															
11		神社、寺院、教会															1
12	イ	工場又は作業場	1		1	1	1			1	1	1			1		8
	ロ	映画スタジオ又はテレビスタジオ															
13	イ	自動車車庫又は駐車場															
	ロ	飛行機又は回転翼航空機の格納庫															
14		倉庫									1			1			2
15		前各項に該当しない事業場	1		1					2				1			5
16	イ	特定複合用途防火対象物															
	ロ	イ以外の複合用途防火対象物															
その他		住 宅	3				2										5
		そ の 他	1	1								1	1				4
合 計			9	3	2	2	4	1	4	3	2	1	3	1			35

工事別建築同意状況

区分	工事種別					令和5年度計	令和4年度計
	新築	増築	改築	用途変更	その他		
同意	29	6				35	34
不同意							
合計	29	6				35	34

過去5年間の建築同意状況



危険物施設現況

区分	製造所等の別	製造所	貯 蔵 所								取 扱 所					令和5年度合計	令和4年度合計	
			小計	屋内	屋外タンク	屋内タンク	地下タンク	簡易タンク	移動タンク	屋外	小計	給油		第一種販売	第二種販売			一般
												営業用	自家用					
倍数別	検査済施設数	1	119	33	17	4	32	2	27	4	56	15	18		1	22	176	175
	5倍以下		54	11	4	4	21	2	10	2	11		2			9	65	66
	5倍超10倍以下		22	2	8		9		1	2	6		1			5	28	26
	10倍超50倍以下	1	20	6	4		2		8		24	2	15		1	6	45	46
	50倍超100倍以下		6		1				5		4	2				2	10	9
	100倍超150倍以下		7	4					3		2	2					9	9
	150倍超200倍以下		2	2							2	2					4	4
	200倍超1,000倍以下		6	6							7	7					13	13
1,000倍超		2	2													2	2	
類別	第1類		1	1													1	1
	第2類																	
	第3類																	
	第4類	1	117	31	17	4	32	2	27	4	56	15	18		1	22	174	173
	第5類		1	1													1	1
	第6類																	
	混在																	

危険物施設許可認可状況

区分	製造所等の別	許 可				完 成 検 査				仮使用承認		廃止届	
		設 置		変 更		設 置		変 更		5年度	4年度	5年度	4年度
		5年度	4年度	5年度	4年度	5年度	4年度	5年度	4年度				
製造所													
貯蔵所	屋内	6	4	2	1	1	3	2		1		1	1
	屋外タンク								1				
	屋内タンク												3
	地下タンク											1	1
	簡易タンク		1				1						
	移動タンク			4				4				1	
	屋外		1				1						1
取扱所	給油			4				4		3			1
	第一種販売												
	第二種販売												
	一般			4	4			2	5	4	4	1	
合計		6	6	14	5	1	5	12	6	8	4	4	7

各種届出処理状況

区 分	件 数		区 分	件 数	
	令和 5年度	令和 4年度		令和 5年度	令和 4年度
防火管理者選解任届	51	77	蓄電池設備設置届		4
消防計画作成届	63	82	ネオン管灯設備設置届		
消防用設備等点検結果報告書	381	301	水素ガスを充てんする気球設置届		
液化石油ガス等貯蔵取扱届	6	19	少量危険物貯蔵取扱届	11	11
防火対象物使用開始届	40	44	指定可燃物貯蔵取扱届		4
消防訓練実施届	171	168	毒物、劇物貯蔵取扱届	1	1
炉 設 置 届			火災とまぎらわしい煙等届	63	112
ボイラー設備等設置届	6	11	煙火（打上げ、仕掛け）届	8	5
発電設備設置届		2	消防用設備等着工届	52	56
変電設備設置届	10	6	消防用設備等設置届	57	52
防火対象物点検結果報告書	33	25	露店等の開設届	43	19

消防用設備等設置検査実施状況

区 分	件 数	
	令和5年度	令和4年度
検査済証	39	37

広報、啓発活動状況

令和5年度

区 分		回 数 等	延べ対象者数等
消防広場（菰野町文化祭）・消防フェア		2回	約2,500人
庁 舎 見 学		5回	404人
訓 練 指 導		29回	1,182人
一人暮らし高齢者防火訪問		※防火訪問は、中止。対象者112人に防火リーフレットを配付	
巡 回 広 報		11回	町内全域
防 火 だ よ り の 発 刊		2回	27,800部
写 生 大 会		1回	75人
防 火 書 道 コ ン ク ー ル		1回	451人
広報印刷物等	ポ ス タ ー		950枚
	チ ラ シ		400枚
	広 報 こ も の	8回	114,400部
	お 知 ら せ 版	8回	112,800部
そ の 他	の ぼ り	28日間	120本
	懸 垂 幕	21日間	3枚
	横 断 幕	28日間	10枚
	防 災 ラ ジ オ 放 送	16回	12,472台

【令和6年度全国統一防火標語】

「守りたい 未来があるから 火の用心」

【令和6年度危険物安全週間推進標語】

「次世代へ つなごう無事故と 青い地球」
ほし

火災



火災は、空気が乾燥する時期に発生しやすく、工場から火災が発生した場合は被害が大きくなる危険性があります。消防本部では、火災予防、消防職団員の火災防ぎょ技術及び連携活動の向上を図る目的で、毎年11月に秋の火災予防運動に伴う特別消防訓練を行っています。

秋の火災予防運動に伴う特別消防訓練
令和5年11月12日
於：大和ハウス工業（株）三重工場

火 災

令和5年中は15件の火災が発生し、これら全火災での損害額は7,479千円でした。

火災件数は前年に比べて2件増加し、建物火災については昨年の4件から6件、林野火災は昨年の2件から3件に増加しています。

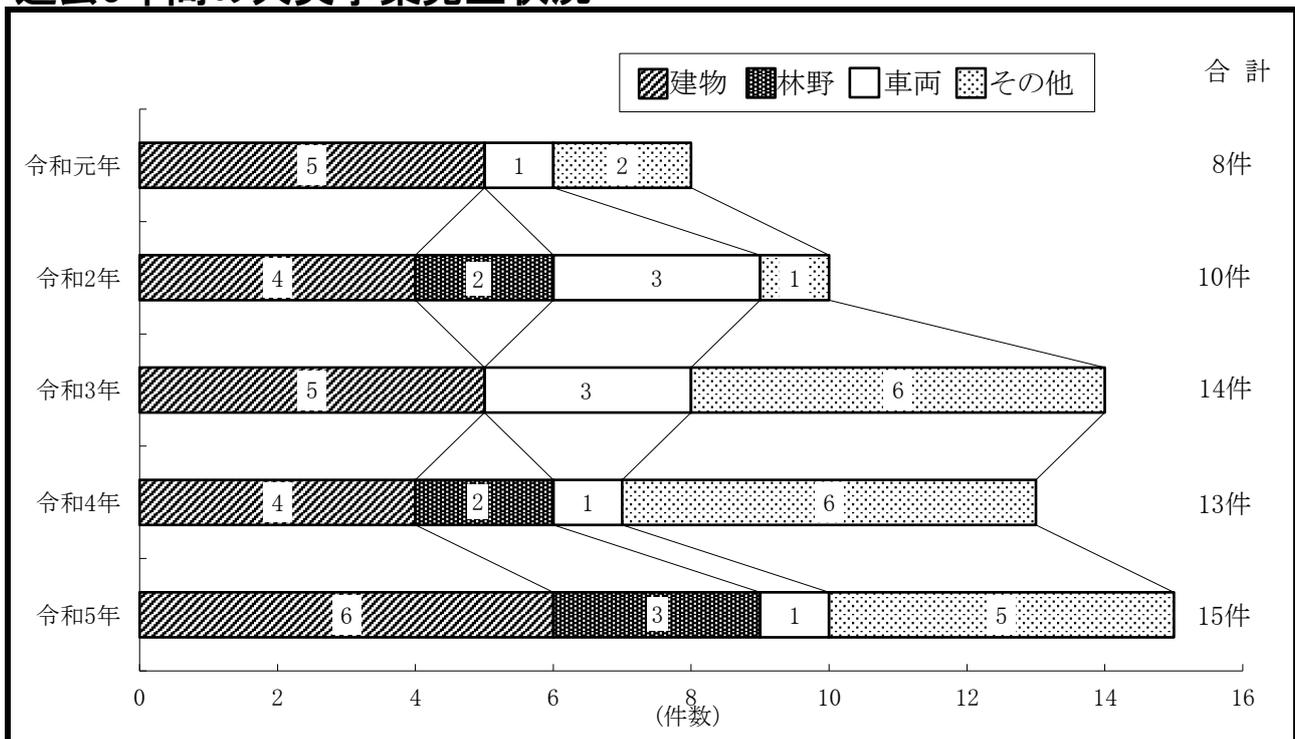
火災事案発生状況

区 分		年 別				
		令和元年	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年
全 国	火 災 件 数	37,683	34,691	35,222	36,314	
	出 火 率	3	2.7	2.8	2.9	
	1件当り損害額(千円)	2,410	2,990	2,959	2,802	
三重県	火 災 件 数	660	615	621	617	
	出 火 率	3.6	3.4	3.5	3.5	
	1件当り損害額(千円)	2,717	2,387	2,214	2,740	
菰野町	火 災 件 数	8	10	14	13	15
	出 火 率	1.9	2.4	3.4	3.2	3.6
	1件当り損害額(千円)	1,889	3,531	566	1,576	499

※出火率＝人口1万人あたりの出火件数

菰野町人口 41,056人(令和5年12月31日現在)

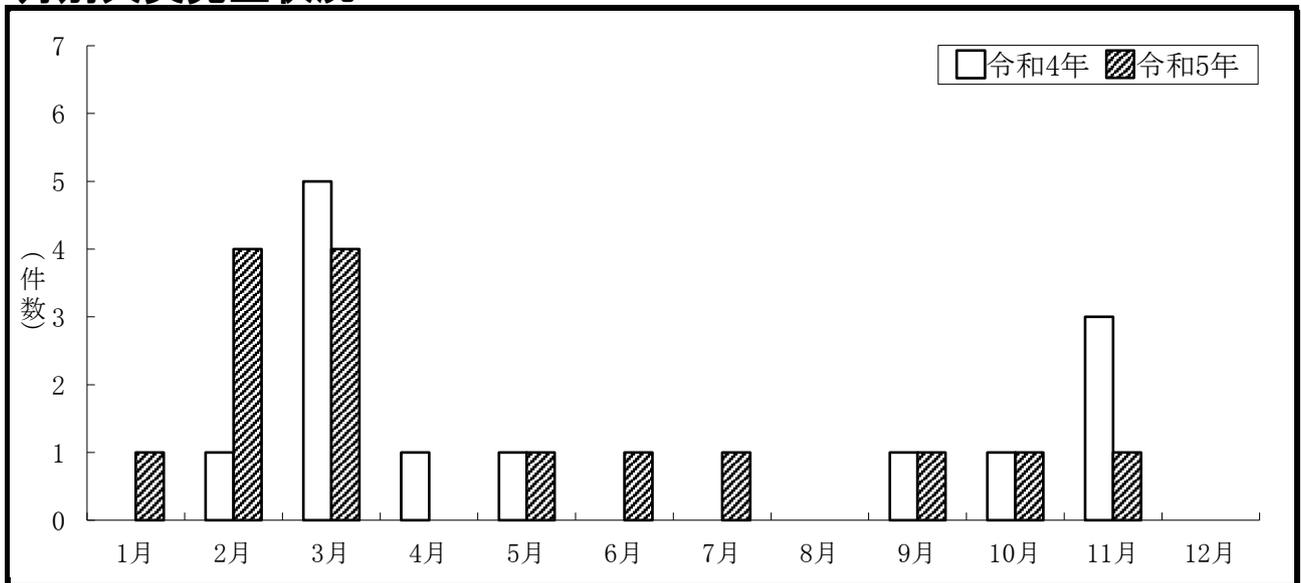
過去5年間の火災事案発生状況



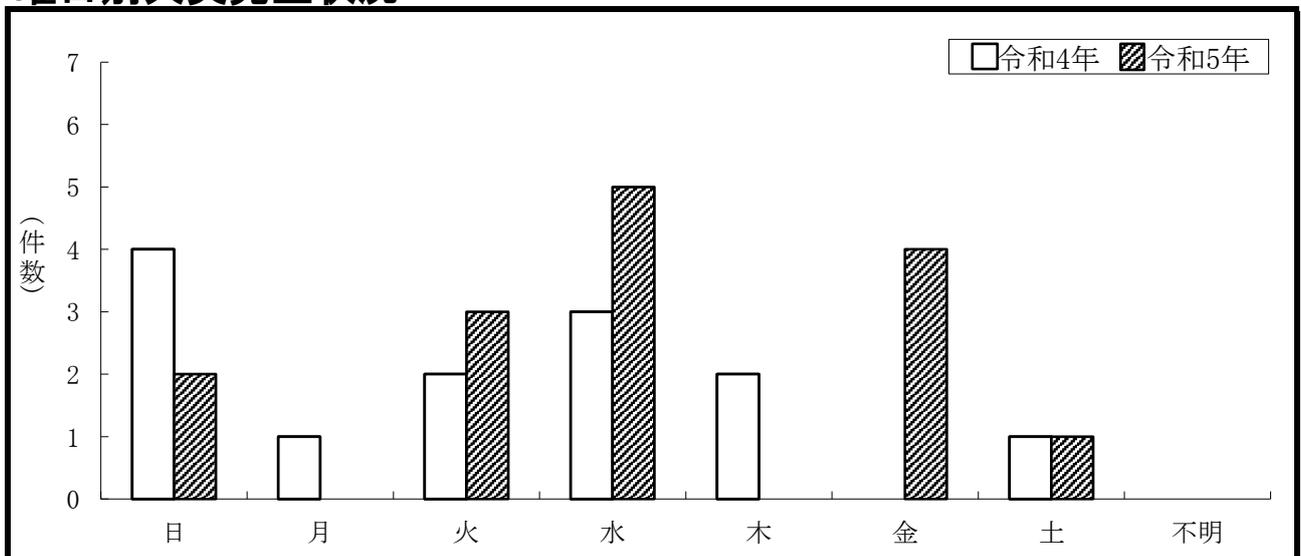
地区別火災発生状況

区分 地区	火災 件数	火災種別				建物 焼損面積 (㎡)	林野 焼損面積 (a)	焼損棟数					り 災世帯数	損害額 (千円)	死傷者	
		建物 火災	林野 火災	車両 火災	その他 火災			全 焼	半 焼	部分 焼	ぼ や	合 計			死 者	負 傷者
菰野	4	2	2			333	2	1			1	2	2	4,154		2
鶉川原	3	2			1						2	2	1	1,576		
竹永	1				1									869		
朝上	2	1			1						1	1	1	100		
千種	5	1	1	1	2	60	60	1				1		780		
合計	15	6	3	1	5	393	62	2			4	6	4	7,479		2

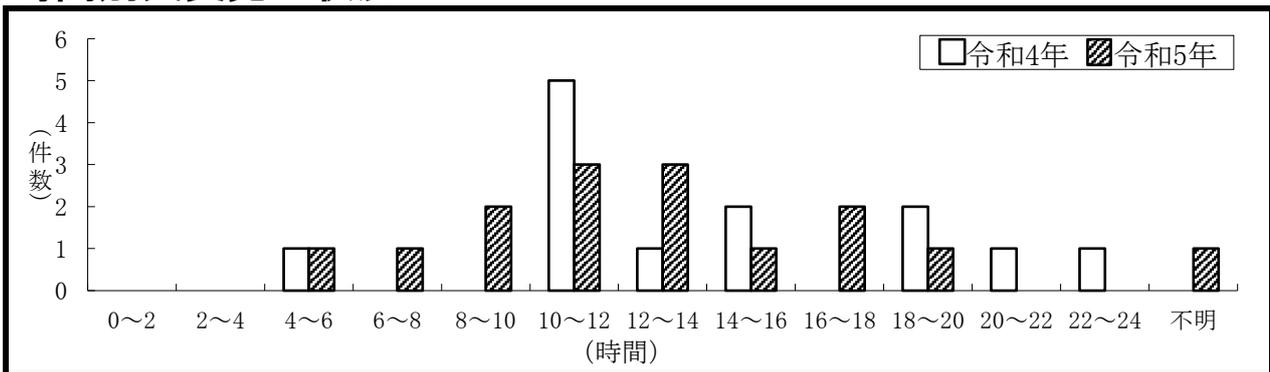
月別火災発生状況



曜日別火災発生状況



時間別火災発生状況



火災出動状況

区分	種別	火 災					非 火 災				管外
		建 物	林 野	車 両	その他	計	警 戒	誤 報 誤 認 虚 報	その他	計	
署単独出動			1			1	16		14	30	
第1出動		4	1	1	5	11					
第2出動											
第3出動											
事後聞知		2	1		3	3					
合 計		6	3	1	5	15	16		14	30	

火災出動区分詳細

火災種別	出動区分	消防本部・消防署出動車両	消防団出動車両
建物 航空機 危険物施設	第1出動	タンク車 ポンプ車 指揮車 3車両	地元分団 近隣分団 本部分団 4~5車両
	第2出動	タンク車 ポンプ車 指揮車 3車両	全分団11車両
林野	第1出動	タンク車 ポンプ車 水槽車 指揮車 4車両	地元分団 近隣分団 本部分団 4~5車両
	第2出動	タンク車 ポンプ車 水槽車 指揮車 4車両	全分団11車両
車両 特殊車両 危険物車両	第1出動	タンク車 ポンプ車 水槽車 指揮車 4車両	地元分団 本部分団 2~3車両
	第2出動	タンク車 ポンプ車 水槽車 指揮車 4車両	地元分団 近隣分団 本部分団 4~5車両
	第3出動	タンク車 ポンプ車 水槽車 指揮車 4車両	全分団11車両
枯草 その他	第1出動	タンク車 ポンプ車 指揮車 3車両	地元分団 本部分団 2~3車両
	第2出動	タンク車 ポンプ車 指揮車 3車両	地元分団 近隣分団 本部分団 4~5車両
	第3出動	タンク車 ポンプ車 指揮車 3車両	全分団11車両
中高層	第1出動	タンク車 ポンプ車 はしご車 指揮車 4車両	地元分団 近隣分団 本部分団 4~5車両
	第2出動	タンク車 ポンプ車 はしご車 指揮車 4車両	全分団11車両
トンネル (高速道路)	第1出動	タンク車 ポンプ車 水槽車 救助工作車 指揮車 5車両	
	第2出動	タンク車 ポンプ車 水槽車 救助工作車 指揮車 5車両	
事後聞知		タンク車 指揮車 1~2車両	

※高速道路内の火災は原則として消防団は出動しない。

火災発生状況及び出火原因状況

番号	火災種別	出火日時	出火地区 (区)	※覚知別	天候	風向	風速 (m/s)	気温 (℃)	
1	建物	1月6日(金) 16時00分	朝上 (一本木団地)	報知電話	曇	西北西	2	7	
2	建物	2月10日(金) 7時30分	菰野 (菰野第一区)	報知電話	雨	西	0	3	
3	その他	2月15日(水) 12時40分	竹永 (竹成)	報知電話	晴れ	北北東	7	3	
4	林野	2月18日(土) 10時30分	菰野 (菰野第一区)	報知電話	曇	東	1	9	
5	その他	2月26日(日) 11時05分	千種 (千草)	報知電話	晴	北北西	7	6	
6	その他	3月8日(水) 10時00分	朝上 (田口)	報知電話	晴	東	2	13	
7	林野	3月8日(水) 12時45分	菰野 (菰野第一区)	報知電話	晴	東北東	2	17	
8	その他	3月10日(金) 14時10分	千種 (音羽)	報知電話	晴	北	6	20	

※ 報知電話 = 119番 (携帯電話等含む)

事後聞知 = 鎮火後に覚知したもの

その他 = 消防吏員が覚知したもの

	湿度	出 火 原 因 等			火 災 概 要
	(%)	発 火 源	経 過	着 火 物	
	67	ロウソク	放置する、忘れる	合成樹脂と成形品	ペットボトルのキャップで自作したロウソク立てにロウソクの炎が接触して祭壇と床の間の一部を焼損したものの。
	82	器具付きコード	絶縁劣化による発熱	ごみ屑	多数の電気機器の電源ケーブルを束ねた状態で長年使用したことにより、電源コードが発熱し絶縁劣化となって発火、周囲のごみ屑に着火して焼損したものの。
	53	金属と切断機の衝撃火花	残り火の処置が不十分	枯草	高速切断機の火花が枯草の中に火種となって残っていたため枯草に着火し、周囲の可燃物に延焼してビニルハウス及び収容物を焼損したものの。
	59	枯草焼き	可燃物が動いて火源に触れる	枯草	枯草焼却した後の残り火により隣接する林野へ延焼したものの。
	47	火のついたゴミ	火の粉が散る遠くへ飛び火する	枯草	ゴミを焼却中に風に煽られ、枯草に延焼したものの。
	45	枯草焼き	火源が動いて接触する	枯草	刈り取った枯草を焼却中に延焼拡大したものの。
	38	不明	不明	枯草	畑周辺の立ち木及び下草が何らかの原因により延焼したものの。
	28	ガスバーナー	火の粉が散る遠くへ飛び火する	枯草	集積した枯草をガスバーナーで焼却していたところ、周囲へ延焼拡大したものの。

火災発生状況及び出火原因状況

番号	火災種別	出火日時	出火地区 (区)	※覚知別	天候	風向	風速 (m/s)	気温 (℃)	
9	車両	3月19日(日) 9時45分	千種 (千草)	報知電話	晴	北	5	13	
10	建物	5月16日(火) 17時45分	千種 (奥郷)	その他	晴	北	3	26	
11	その他	6月28日(水) 9時45分	鵜川原 (吉沢)	報知電話	晴	東	2	30	
12	林野	7月18日(火) 時間不明	千種 (奥郷)	事後聞知	晴	西	3	26	
13	建物	9月13日(水) 4時10分	鵜川原 (大強原)	報知電話	晴	西	1	22	
14	建物	10月27日(金) 12時30分	菰野 (大羽根園)	事後聞知	晴	南南東	2	22	
15	建物	11月7日(火) 18時55分	鵜川原 (下村)	事後聞知	晴	北	5	17	

※ 報知電話 = 119番 (携帯電話等含む)

事後聞知 = 鎮火後に覚知したもの

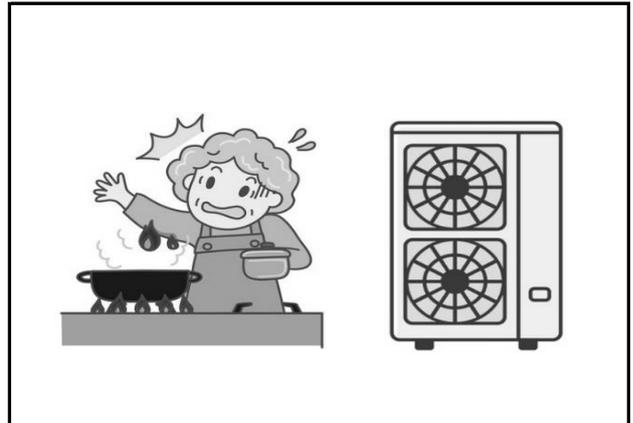
その他 = 消防吏員が覚知したもの

	湿度	出 火 原 因 等			火 災 概 要
	(%)	発 火 源	経 過	着 火 物	
	41	交通機関内配線	電線が短絡する	電気配線類	自動車用配線が振動によりマフラーに接触し被覆が溶融したため短絡しエンジン部を焼損したもの。
	42	火のついたゴミ	放置する、忘れる	その他	焼却中のゴミを消火せずその場を離れたため、付近の可燃物に延焼して倉庫を焼損したもの。
	72	その他	放置する、忘れる	第二石油類	油の混ざったドラム缶内の液体を蒸発させるためクレーンで吊り下げ、炎で炙ったままその場を離れたため発火してクレーン及びビニルトタンを焼損したもの。
	80	たばこ	消したはずのものが再燃する	枯草（生えたまま枯れたもの）	捨てられたたばこの吸い殻が再燃して下草に燃え移り延焼したもの。
	97	冷暖房機	機械の調整が適当でない	第三石油類	圧縮機内部の経年劣化による絶縁不良によりトラッキング現象が発生し、冷暖房機内の冷凍機油に引火して室外機を焼損したもの。
	59	ガスこんろ	可燃物が動いて火源に触れる	衣類	調理中のこんろの火が衣類に着火して焼損したもの。
	63	その他の電気機器	引火する	その他	静電気によりアクリル板に付着した切り屑がレーザー加工機から照射された熱により引火して周囲の収容物を焼損したもの。

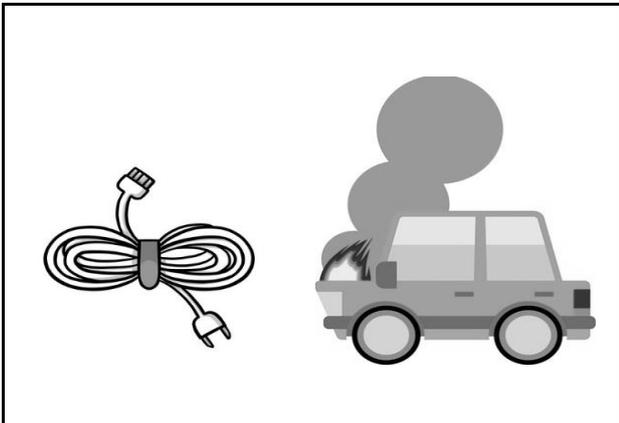
絵で見る火災原因（15件）



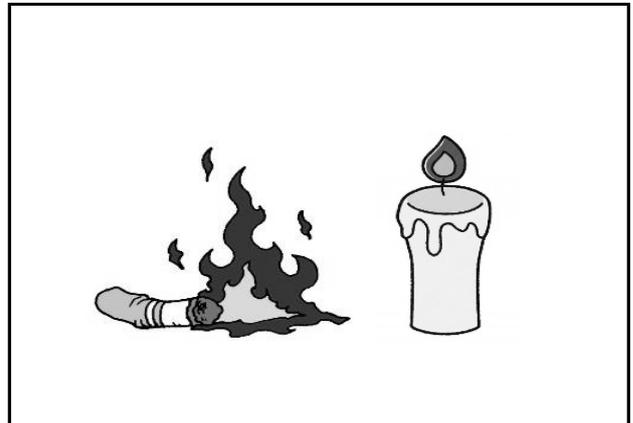
枯草・ゴミ焼き等 4件



コンロ・電気機器等 3件



電気コード・配線 2件



たばこ・ろうそく等 3件



切断機 1件



その他・不明 2件

救急、救助



集団救急救護訓練は、職員の災害対応の知識、技術の向上を目的に実施しています。令和5年度は新名神高速道路での実災害に基づいた訓練を聖十字看護専門学校生徒の協力のもと実施しました。

集団救急救護訓練
令和5年10月26日
於：菟野町消防本部

救 急

令和5年中の救急出動件数は1,780件、搬送人員は1,709人でした。1日あたり平均4.9件の出動で、町民23人に1人の割合で救急車が利用されたことになります。

救急件数を事故種別で見ると、急病が1,258件(70.7%)で最も多く、続いて一般負傷が270件(15.1%)、その他が128件(7.2%)、交通が124件(7.0%)となりました。

救急件数は昨年に比べて大きな増減はありませんでしたが、その他が交通を上回る発生件数となりました。また、新型コロナウイルス感染症は令和5年5月に五類感染症に分類されました。

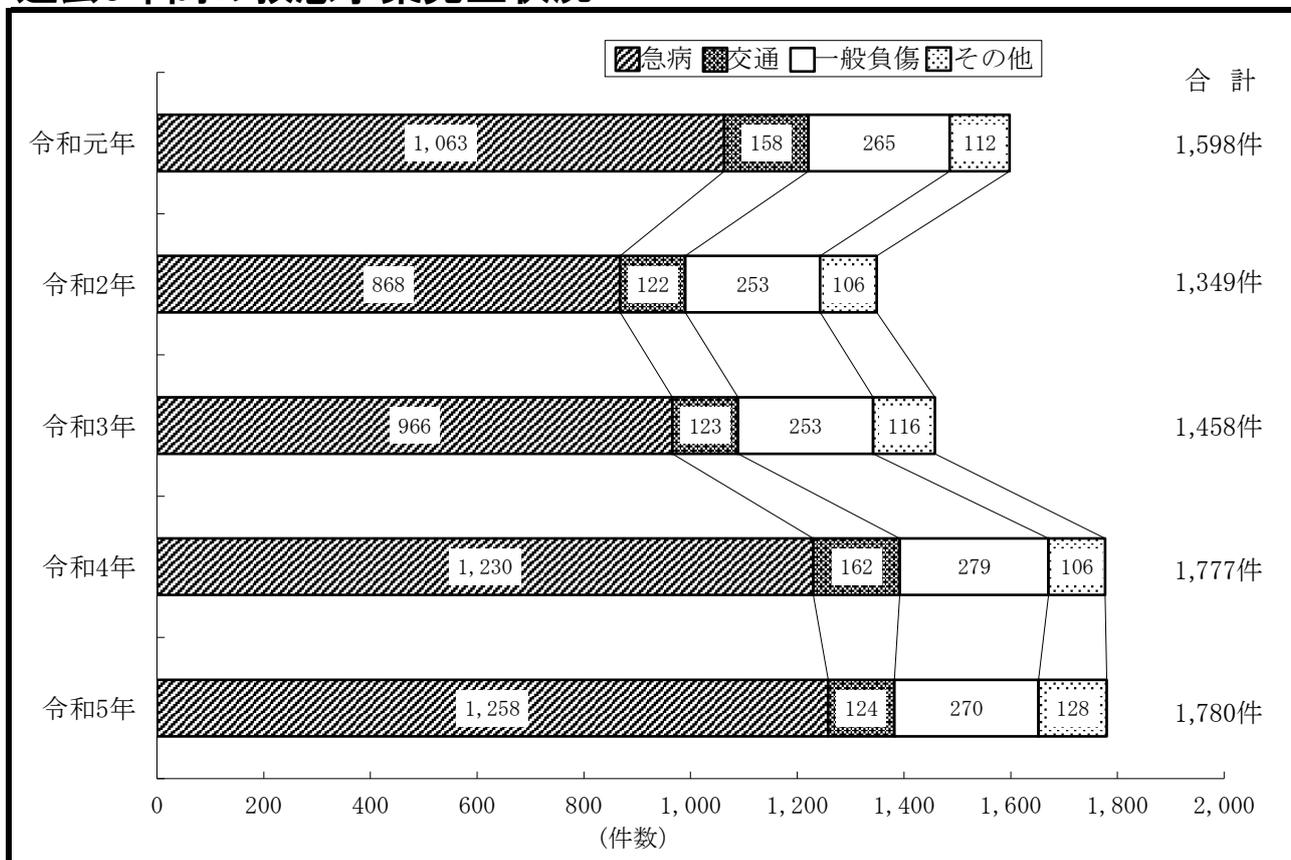
救急事案発生状況

区 別		年 別	令和元年	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年
全 国	救急件数		6,639,767	5,933,277	6,193,581	7,229,572	
	発生率		523	467	491	573	
三 重 県	救急件数		98,919	87,314	90,460	107,157	
	発生率		545	481	511	605	
菰 野 町	救急件数		1,598	1,349	1,458	1,777	1,780
	発生率		383	324	352	430	434

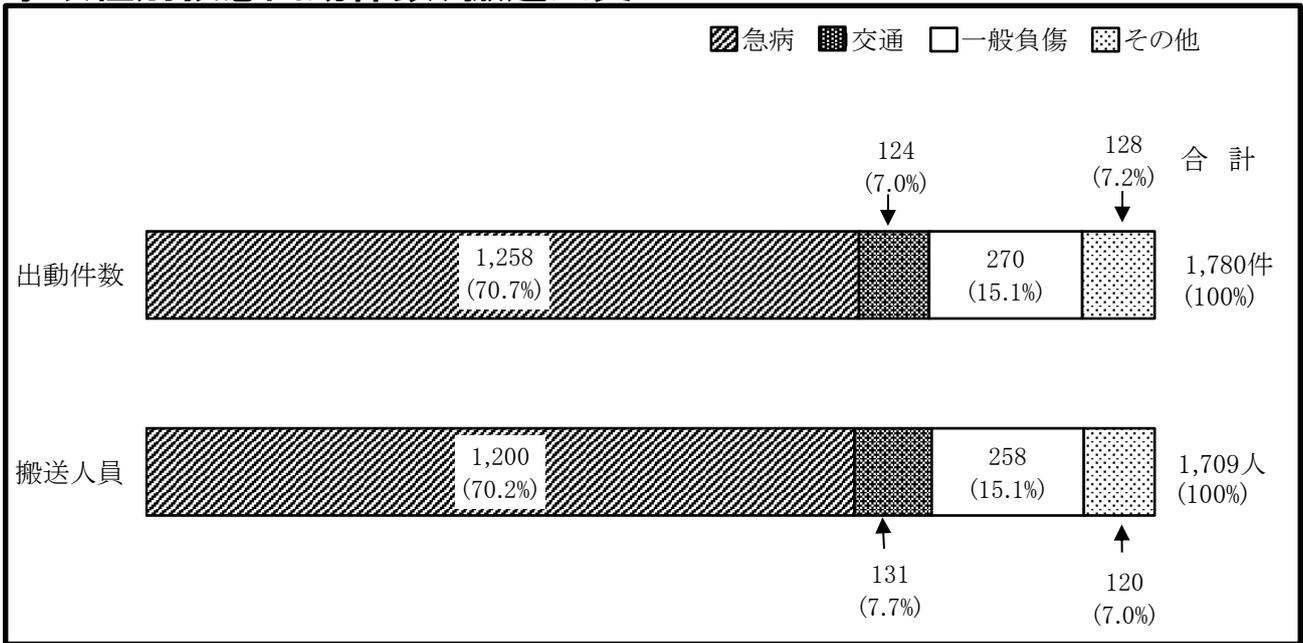
※発生率=人口1万人あたりの発生件数

菰野町人口 41,056人(令和5年12月31日現在)

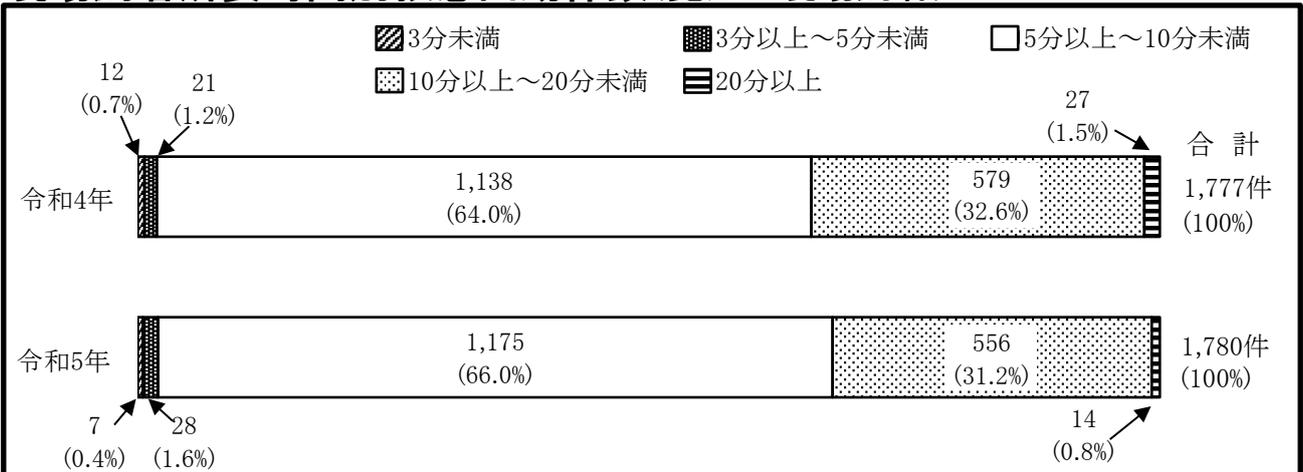
過去5年間の救急事案発生状況



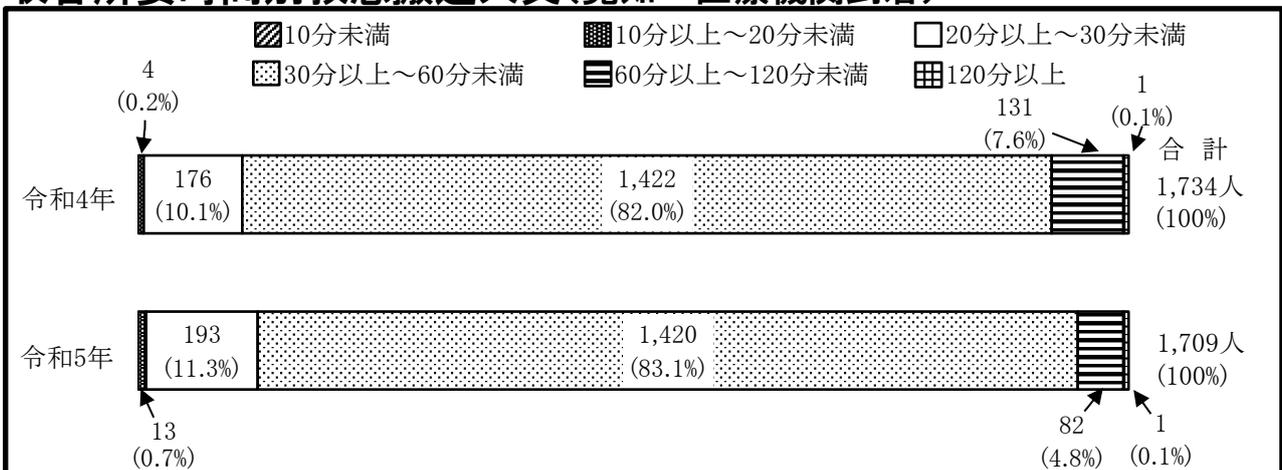
事故種別救急出動件数、搬送人員



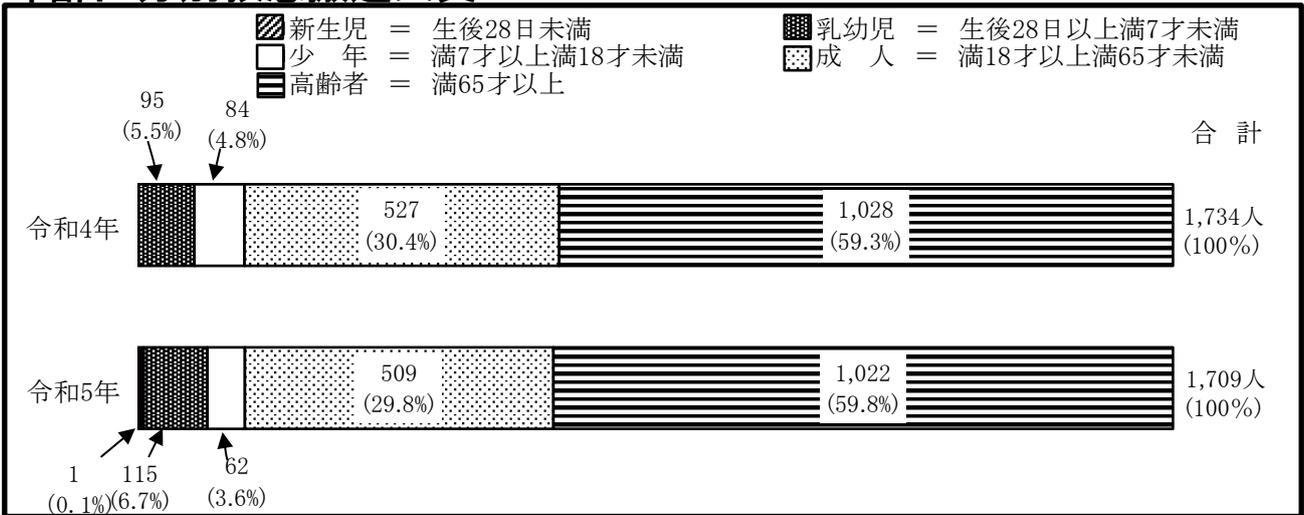
現場到着所要時間別救急出動件数(覚知～現場到着)



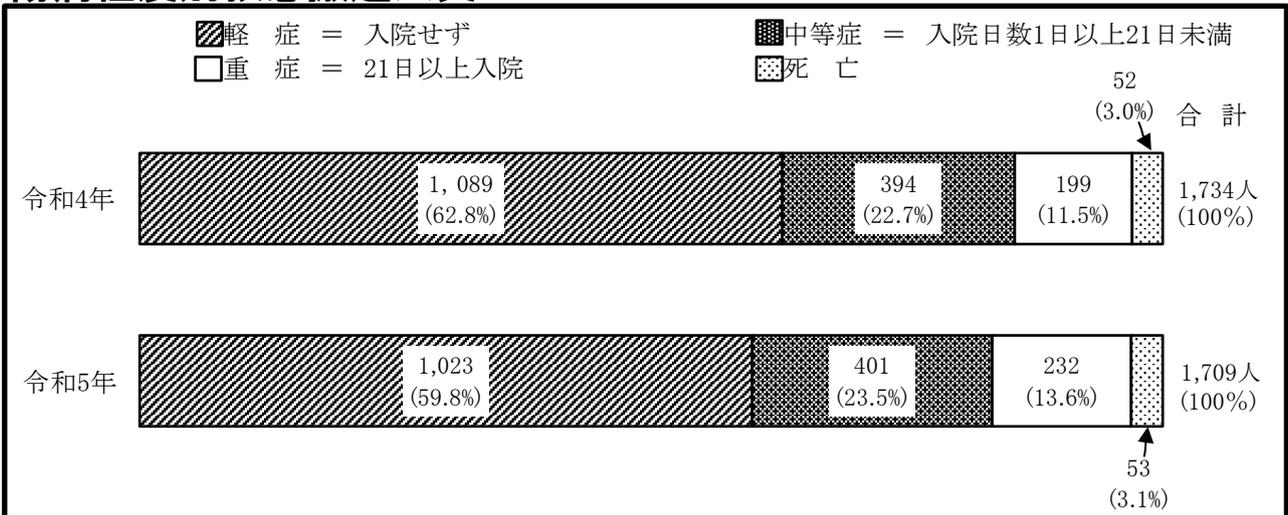
収容所要時間別救急搬送人員(覚知～医療機関到着)



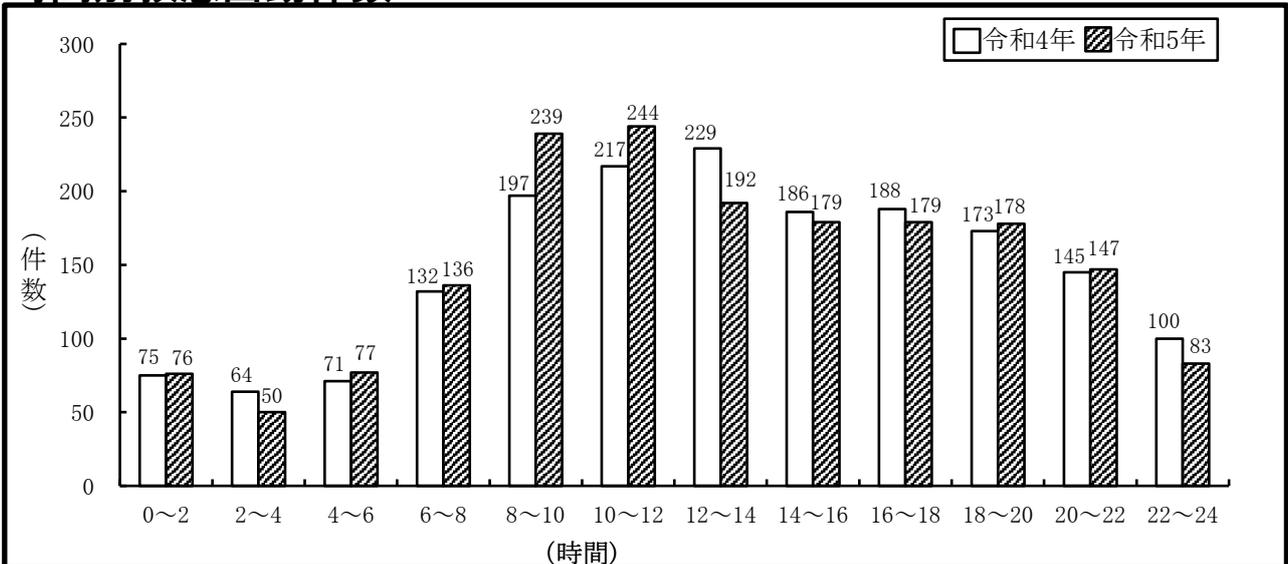
年齢区分別救急搬送人員



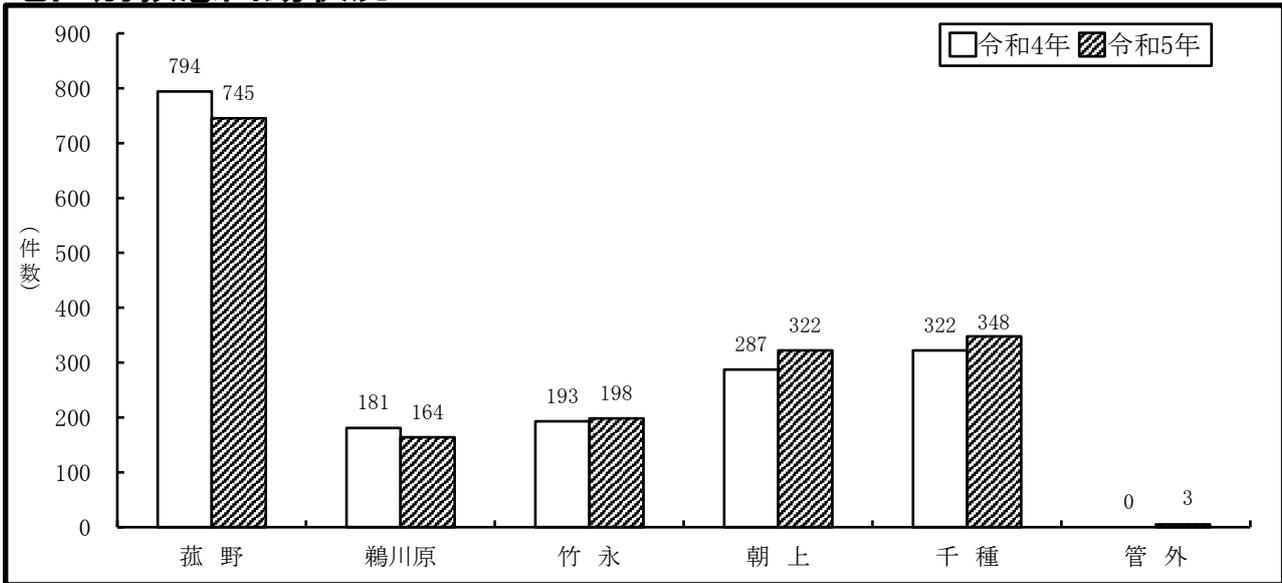
傷病程度別救急搬送人員



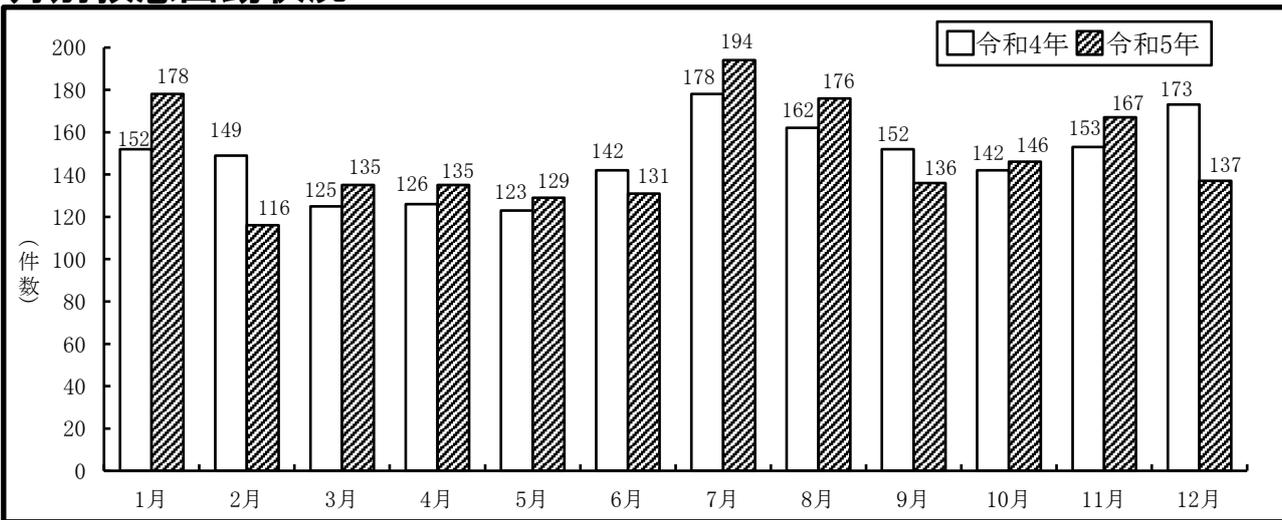
時間別救急出動件数



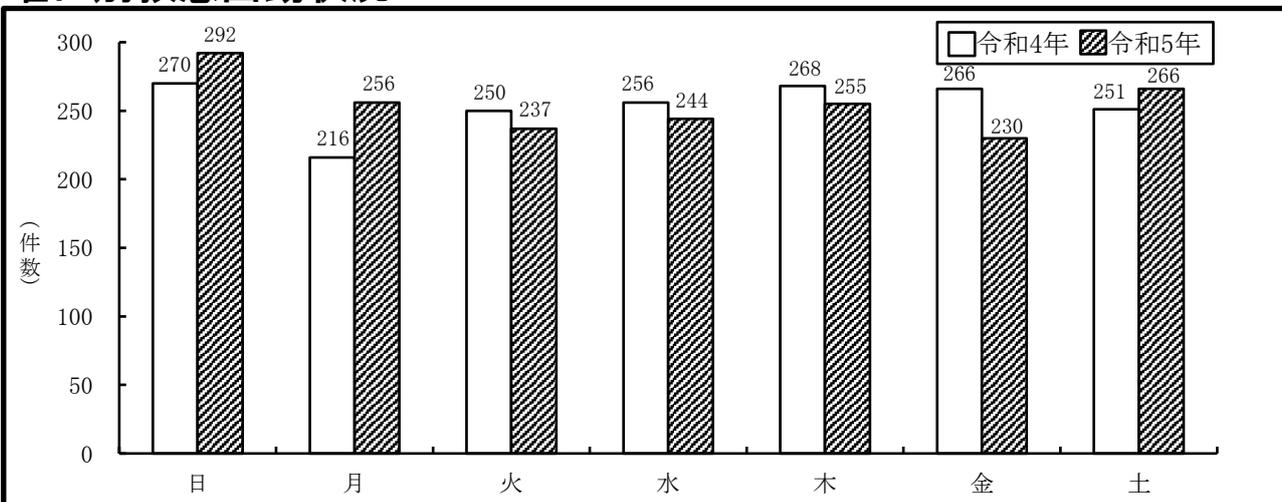
地区別救急出動状況



月別救急出動状況



曜日別救急出動状況



年齢区分別、傷病程度別救急搬送人員

年齢区分 傷病程度	新生児	乳幼児	少年	成人	高齢者	令和5年 合計	令和4年 合計
死亡				12	41	53	52
重症		1	4	49	178	232	199
中等症		18	6	74	303	401	394
軽症	1	96	52	374	500	1,023	1,089
その他							
合計	1	115	62	509	1,022	1,709	1,734

事故種別、年齢区分別救急搬送人員

事故種別 年齢区分	火災	自然 災害	水難	交通	労働 災害	運動 競技	一般 負傷	加害	自損 行為	急病	その他	令和5年 合計	令和4年 合計
新生児							1					1	
乳幼児							21			94		115	95
少年				10		1	13		1	36	1	62	84
成人				87	23	1	50	3	7	323	15	509	527
高齢者	1			34	9		173		5	747	53	1,022	1,028
合計	1			131	32	2	258	3	13	1,200	69	1,709	1,734

事故種別、傷病程度別救急搬送人員

事故種別 傷病程度	火災	自然 災害	水難	交通	労働 災害	運動 競技	一般 負傷	加害	自損 行為	急病	その他	令和5年 合計	令和4年 合計
死亡				3			1		5	43	1	53	52
重症				10	5		49		2	137	29	232	199
中等症	1			7	12		50			301	30	401	394
軽症				111	15	2	158	3	6	719	9	1,023	1,089
その他													
合計	1			131	32	2	258	3	13	1,200	69	1,709	1,734

事故種別、時間別救急出動件数

区分	事故種別	火災	自然災害	水難	交通	労働災害	運動競技	一般負傷	加害	自損行為	急病	その他	令和5年合計	令和4年合計
休日					20	4	3	65	3	6	275	1	377	320
休日以外の日		2			104	29		205	1	10	983	69	1,403	1,457
時間内	0～2				6			12		1	57		76	75
	2～4				1			5	1	2	41		50	64
	4～6				5	1		10			61		77	71
	6～8				15			16		2	103		136	132
	8～10	1			11	7		43		2	169	6	239	197
	10～12				20	6	1	36		1	161	19	244	217
	12～14				13	3	1	33		2	119	21	192	229
	14～16	1			20	5		29		2	112	10	179	186
	16～18				9	9	1	24			126	10	179	188
	18～20				17	1		34	2	1	120	3	178	173
	20～22				5	1		21	1	2	117		147	145
22～24				2			7		1	72	1	83	100	
令和5年計		2			124	33	3	270	4	16	1,258	70	1,780	
令和4年計				1	162	25	3	279	4	15	1,230	58		1,777

事故種別、応急処置件数

事故種別	急病	交通	一般負傷	その他	合計
止血	11	16	57	14	98
固定	35	98	116	22	271
人工呼吸	5			1	6
心肺蘇生	39	3	2	6	50
酸素吸入	253	5	11	26	295
気道確保	54	3	1	6	64
気道確保（特定行為）	7	1	1		9
保温	309	12	51	15	387
被覆	11	23	75	16	125
除細動	1				1
静脈路確保	31	2	3	3	39
薬剤投与	16	2	2	1	21
ブドウ糖投与	2				2
その他	4,394	421	850	411	6,076
合計	5,168	586	1,169	521	7,444

※人工呼吸は単独で行った場合のみ計上

※その他は血圧、血中酸素飽和度の測定、聴診器による呼吸音聴取等を計上

事故種別、医療機関別救急搬送人員

告示別等	事故種別		急病		交通		一般負傷		その他		令和5年合計		令和4年合計		
	開設別		うち 管外												
救急告示医療機関	国立		3	3							3	3			
	公立		788	788	68	68	134	134	85	85	1,075	1,075	1,109	1,109	
	公的		349	99	58	25	116	46	31	16	554	186	517	197	
	私的	病院		51	51	4	4	8	8	4	4	67	67	93	93
		診療所													
	計		1,191	941	130	97	258	188	120	105	1,699	1,331	1,719	1,399	
その他の医療機関	国立												1	1	
	公立												1	1	
	公的		1	1							1	1			
	私的	病院		7	7							7	7	7	7
		診療所		1	1	1						2	1	6	3
	計		9	9	1						10	9	15	12	
計	国立		3	3							3	3			
	公立		788	788	68	68	134	134	85	85	1,075	1,075	1,110	1,110	
	公的		350	100	58	25	116	46	31	16	555	187	517	197	
	私的	病院		58	58	4	4	8	8	4	4	74	74	100	100
		診療所		1	1	1						2	1	6	3
	計		1,200	950	131	97	258	188	120	105	1,709	1,340	1,734	1,411	
その他の場所	接骨院等														
	その他														
	計														
令和5年計			1,200	950	131	97	258	188	120	105	1,709	1,340			
令和4年計			926	712	127	104	249	190	111	100			1,734	1,411	

救 助

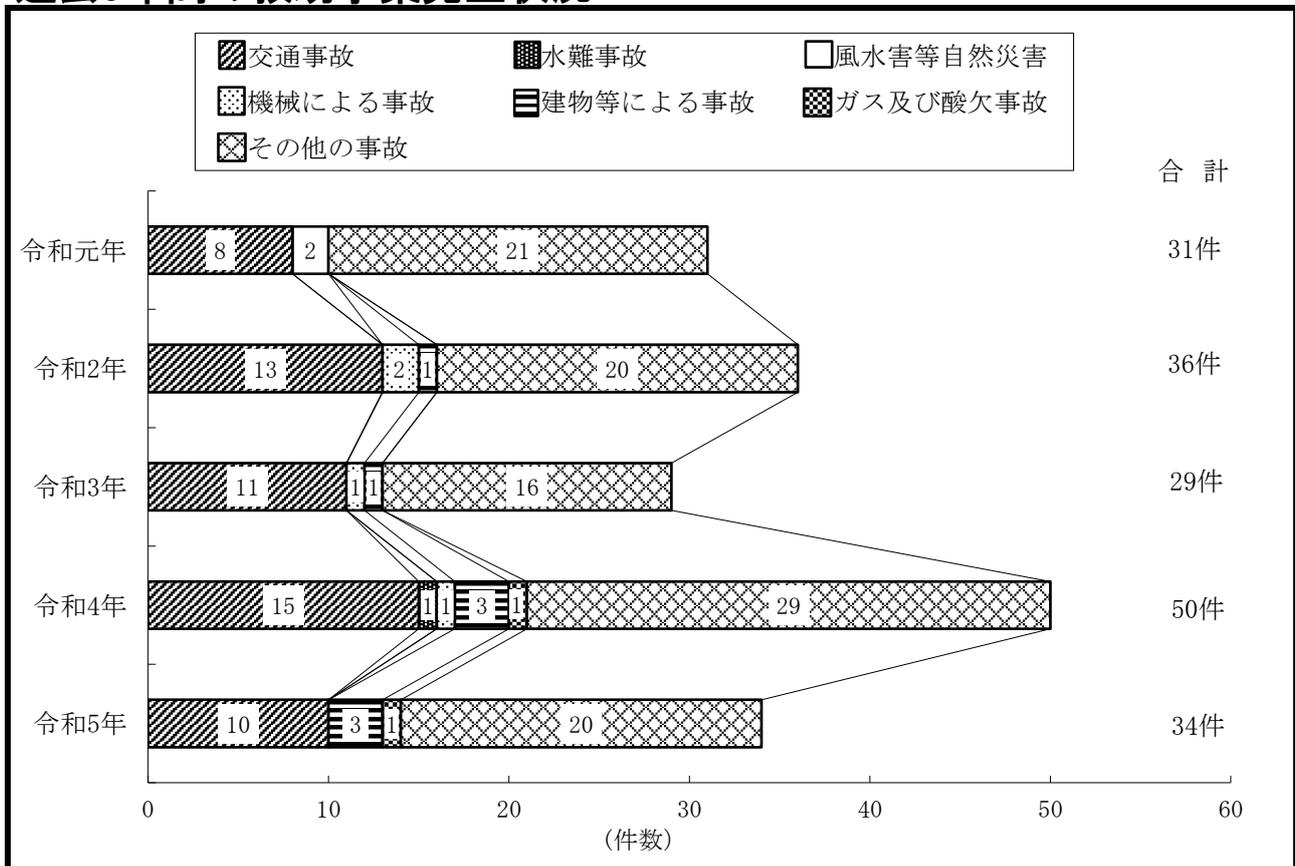
令和5年中の救助出動件数は34件、救助人員は47人でした。

救助件数を事故種別で見ると、その他の事故20件(うち山岳救助14件)が最も多く、交通事故が10件、建物等による事故が3件、ガス及び酸欠事故が1件となりました。

救助事案発生状況

区 別		年 別	令和元年	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年
全 国	救助出動件数		96,424	93,989	99,395	108,515	
	救助活動件数		61,340	59,977	63,198	68,123	
	救助人員		63,670	57,952	59,861	62,679	
三 重 県	救助出動件数		924	878	930	983	
	救助活動件数		606	575	637	663	
	救助人員		725	633	702	721	
菰 野 町	救助出動件数		31	36	29	50	34
	救助活動件数		22	25	23	32	24
	救助人員		24	26	31	33	47

過去5年間の救助事案発生状況



事故種別、救助出動件数・救助人員

種別 区分	火 災		交 通 事 故	水 事 難 故	風 水 害 等 自 然 災 害	機 械 に よ る 事 故	建 物 等 に よ る 事 故	ガ ス 及 び 酸 欠 事 故	破 裂 事 故	そ の 他 の 事 故	令 和 5 年 合 計	令 和 4 年 合 計
	建 物	他										
出 動 件 数			10				3	1		20	34	50
救 助 人 員			27				2	1		17	47	33

※管轄外の出動件数含む

事故種別、救助出動人員

種別 区分	火 災		交 通 事 故	水 事 難 故	風 水 害 等 自 然 災 害	機 械 に よ る 事 故	建 物 等 に よ る 事 故	ガ ス 及 び 酸 欠 事 故	破 裂 事 故	そ の 他 の 事 故	令 和 5 年 合 計	令 和 4 年 合 計
	建 物	他										
救 助 隊 員			43				12	9		83	147	207
消 防 隊 員			13								13	23
救 急 隊 員			50				9	3		19	81	80
合 計			106				21	12		102	241	310

事故種別、救助出動車両

種別 車両	火 災		交 通 事 故	水 事 難 故	風 水 害 等 自 然 災 害	機 械 に よ る 事 故	建 物 等 に よ る 事 故	ガ ス 及 び 酸 欠 事 故	破 裂 事 故	そ の 他 の 事 故	令 和 5 年 合 計	令 和 4 年 合 計
	建 物	他										
救 助 工 作 車			10				3			6	19	24
タ ン ク 車								1			1	1
ポ ン プ 車			5								5	6
救 急 車			16				3	1		6	26	27
指 揮 車			1					1			2	1
広 報 車			1							14	15	25
資 機 材 搬 送 車			1					1			2	
そ の 他 の 車 両										1	1	5
合 計			34				6	4		27	71	89

※その他の車両とは、事務連絡車と防災広報車

救助出動状況

番号	事故種別	覚 知 日 時	発 生 場 所(区)	※覚 知 別	
1	建 物 等	2 月 16 日 (木) 20 時 09 分	菰 野 (福 村)	報 知 電 話	
2	そ の 他	2 月 20 日 (月) 17 時 05 分	朝 上 (榊)	報 知 電 話	
3	交 通	3 月 3 日 (金) 9 時 19 分	鶉川原 (池 底)	報 知 電 話	
4	交 通	3 月 15 日 (水) 11 時 35 分	竹 永 (竹 成)	報 知 電 話	
5	そ の 他	3 月 30 日 (木) 20 時 56 分	竹 永 (竹 成)	報 知 電 話	
6	交 通	4 月 17 日 (月) 0 時 19 分	新名神高速道路	加 入 電 話	
7	そ の 他 (山 岳)	4 月 23 日 (日) 10 時 20 分	菰 野 (湯 の 山)	報 知 電 話	
8	そ の 他 (山 岳)	4 月 24 日 (月) 10 時 55 分	菰 野 (湯 の 山)	報 知 電 話	
9	そ の 他 (山 岳)	5 月 1 日 (月) 14 時 04 分	菰 野 (湯 の 山)	報 知 電 話	
10	そ の 他	5 月 5 日 (金) 8 時 44 分	鶉川原 (下 村)	報 知 電 話	

※ 報 知 電 話 = 119 番 (携 帯 電 話 等 含 む)
 加 入 電 話 = 一 般 加 入 電 話

	出場車両	人員	事故概要等	救助概要等
	救助工作車 救急2号車	7	アパートの1室で、声掛けには応じるが動けず、玄関扉及び窓が施錠されており室内へ入ることができない。	窓ガラスを割り鍵を解除し屋内へ進入、救急隊の支援をした後、帰署した。
	救助工作車 救急1号車	8	路上で急に倒れ意識が無く腕がフェンスに引っ掛かり外れない。	先着の救急隊によりフェンスに引っ掛かった腕を解除できたとの連絡により引き揚げた。
	救助工作車 救急1号車	7	交差点内での車両同士の衝突事故により、うち1台が田んぼに転落し横転、車内に1名取り残されている。	現場到着時に、警察による救出活動が実施されており救助活動なし。
	ポンプ車 救助工作車 救急1号車 救急2号車	13	交差点内での車両同士の衝突事故により、中型ダンプが横転、車内に1名取り残されている。	現場到着時に、要救助者はキャビン内で座っており、フロントガラスをガラスカッターで切断し救出した。
	救助工作車	4	自宅の浴槽内で動けなくなっている。	浴槽内から人力で脱衣所まで救出した。
	指揮車 救助工作車 広報車 資機材搬送車 救急1号車 救急2号車 救急3号車	19	高速道路上での、大型トラック2台と大型バスの衝突事故で、バスのドアが開かず、複数人の乗客が車内に取り残されている。	スライドドアを油圧器具で開放し、乗客を車外へ救出した。
	広報車	4	御在所岳中道登山道を登山中に急に倒れた。	ヘリコプターによるピックアップ可能な位置まで搬送後、三重県防災航空隊がヘリコプターで医療機関へ搬送した。
	広報車	4	御在所岳裏道登山道を登山中に約2m滑落し右足の踵を負傷した。	応急処置後、三重県防災航空隊がヘリコプターで医療機関へ搬送した。
	広報車 事務連絡車 救急1号車	10	御在所岳前尾根P2ヤグラをクライミング中に転落し左足首を負傷した。	背負搬送で下山後、救急隊に引き継いだ。
	救助工作車 救急2号車	7	作業中に水路に転落し、自力で上がれない。	バックボードを使用し道路上まで救出後、救急隊に引き継いだ。

救助出動状況

番号	事故種別	覚 知 日 時	発 生 場 所(区)	※覚 知 別	
11	その他 (山岳)	5月12日(金)10時35分	菰野 (湯の山)	報知電話	
12	その他 (山岳)	5月18日(木)15時18分	菰野 (湯の山)	報知電話	
13	交通	5月28日(日)19時18分	竹永 (竹成)	報知電話	
14	その他 (山岳)	6月4日(日)10時38分	菰野 (湯の山)	報知電話	
15	交通	6月16日(金)14時57分	鵜川原 (大強原)	報知電話	
16	その他 (山岳)	7月21日(金)13時03分	菰野 (湯の山)	加入電話	
17	その他 (山岳)	8月12日(土)7時58分	菰野 (湯の山)	報知電話	
18	その他	8月19日(土)8時09分	竹永 (竹成)	報知電話	
19	建物等	9月5日(火)23時45分	千種 (奥郷)	報知電話	
20	その他 (山岳)	9月28日(木)14時11分	菰野 (湯の山)	加入電話	

※報知電話 = 119番(携帯電話等含む)
 加入電話 = 一般加入電話

出場車両	人員	事故概要等	救助概要等
広報車	4	御在所岳前尾根P7でクライミング中に滑落し左足を負傷した。	応急処置後、名古屋市消防航空隊がヘリコプターで医療機関へ搬送した。
広報車	4	御在所岳岳不動道を下山中に転倒し負傷した。	ピックアップ可能な位置までバスケット担架にて搬送後、滋賀県防災航空隊がヘリコプターで医療機関へ搬送した。
救助工作車 救急2号車	6	軽トラックが対向車を避けようとハンドルを切ったところ横転し車内に1名閉じ込められている。	現場到着時には、自力で車外へ出ており救助活動なし。
広報車	4	御在所岳藤内壁一の壁でクライミング中に滑落し腰部を負傷した。	ピックアップ可能な位置までバスケット担架にて搬送後、滋賀県防災航空隊がヘリコプターで医療機関へ搬送した。
ポンプ車 救助工作車 救急1号車 救急2号車	13	交差点内での車両同士の衝突事故で、事故車両から煙が出ている。	現場到着時には、車外へ出ており事故車両から煙も出していない状況で救助活動なし。
広報車	4	御在所岳見晴台岩付近で行方不明者を発見した。	登山道上まで引き上げピックアップ可能な位置まで搬送後、三重県警ヘリコプターにてピックアップされた。
広報車	4	御在所岳中道登山道登山中に転落し頭部、右肩、左手を負傷した。	ピックアップ可能な位置まで搬送後、三重県防災航空隊がヘリコプターで医療機関へ搬送した。
救助工作車 救急2号車	6	ベッドから転落し、家具との間に挟まり動けない。	ドライバーにて家具の脚を外して救出した。
救助工作車 救急1号車	6	トイレで壁と便器の間に挟まり動けない。	洋式トイレの水道を止め便器を取り外して救出した。
広報車	5	御在所岳前尾根P2ヤグラをクライミング中に滑落し左脇腹と左大腿部を負傷した。	ピックアップ可能な位置まで介添えにて移動後、滋賀県防災航空隊がヘリコプターで医療機関へ搬送した。

救助出動状況

番号	事故種別	覚 知 日 時	発 生 場 所(区)	※覚 知 別	
21	そ の 他	10 月 2 日 (月) 10 時 19 分	朝 上 (杉 谷)	報 知 電 話	
22	そ の 他 (山 岳)	10 月 7 日 (土) 10 時 59 分	菰 野 (湯 の 山)	報 知 電 話	
23	そ の 他	10 月 9 日 (月) 14 時 44 分	菰 野 (菰 野 第 一 区)	報 知 電 話	
24	そ の 他 (山 岳)	11 月 1 日 (水) 12 時 42 分	菰 野 (湯 の 山)	報 知 電 話	
25	交 通	11 月 1 日 (水) 22 時 32 分	新 名 神 高 速 道 路	報 知 電 話	
26	ガ ス 及 び 酸 欠	11 月 3 日 (金) 8 時 09 分	竹 永 (永 井)	報 知 電 話	
27	そ の 他 (山 岳)	11 月 5 日 (日) 7 時 26 分	菰 野 (湯 の 山)	報 知 電 話	
28	交 通	11 月 5 日 (日) 15 時 13 分	千 種 (福 松)	報 知 電 話	
29	そ の 他 (山 岳)	11 月 11 日 (土) 12 時 56 分	菰 野 (湯 の 山)	報 知 電 話	
30	建 物 等	11 月 14 日 (火) 8 時 32 分	千 種 (岡)	報 知 電 話	

※ 報 知 電 話 = 119 番 (携 帯 電 話 等 含 む)
 加 入 電 話 = 一 般 加 入 電 話

	出場車両	人員	事故概要等	救助概要等
	救助工作車 救急1号車	7	行方不明者を河川で発見したが法面まで上げることが出来ない。	バスケット担架に収容後、ロープにて人力で引き上げ救出した。
	広報車	4	御在所岳本谷不動滝付近で滑落し負傷した。	ヘリコプターによるピックアップ可能な位置まで担架にて搬送後、滋賀県防災航空隊がヘリコプターで医療機関へ搬送した。
	救助工作車 救急1号車	7	橋のガードレールで縊頸状態のところを発見したが、降ろすことが出来ない。	三連梯子を使用し、バスケット担架へ収容後、ロープを切断し路上まで救出した。
	広報車	4	御在所岳一の谷新道を下山中に道に迷い、疲労で動けなくなった。	ヘリコプターによるピックアップ可能な位置まで介添えにて移動後、三重県防災航空隊がヘリコプターで三滝川河川敷まで搬送した。
	ポンプ車 救助工作車 救急1号車	10	高速道路上で故障停車中のトラックに後続車両が衝突し、停車中のトラックの運転手が車の中に閉じ込められている。	事故車両の運転席側の窓から介添えにて車外へ救出した。
	指揮車 タンク車 資器材搬送車 救急2号車	12	目張りされた車内に人がいる。	防護服及び空気呼吸器を着装しガス検知器にて環境測定及び警戒区域の設定後、車外へ救出した。
	広報車	4	御在所岳中道登山道を登山中に気分不良のため動けなくなった。	他の登山客の介添えにて下山してきたため、救助活動なし。
	指揮車 救急1号車 救急2号車 救急3号車	13	交差点内での車4台による衝突事故で、車内に2名が閉じ込められている。	事故車両の後部左側ドアから車外へ救出した。
	広報車	4	御在所岳一の谷新道を下山中に道に迷い身動きがとれなくなった。	ロープを使用し、安全な位置まで救出後、三重県防災航空隊がヘリコプターで三滝川河川敷まで搬送した。
	救助工作車 救急1号車	8	朝から連絡が取れず施錠され屋内に入れない。	警察官により窓が破壊され開錠状態であったため、救助活動なし。

救助出動状況

番号	事故種別	覚 知 日 時	発 生 場 所(区)	※覚 知 別	
31	そ の 他 (山 岳)	11 月 19 日 (日) 15 時 05 分	菰 野 (湯の山)	報 知 電 話	
32	交 通	11 月 26 日 (日) 16 時 09 分	新名神高速道路	報 知 電 話	
33	交 通	11 月 27 日 (月) 13 時 45 分	竹 永 (竹 成)	報 知 電 話	
34	交 通	12 月 14 日 (木) 15 時 40 分	菰 野 (宿 野)	報 知 電 話	

※ 報 知 電 話 = 119番 (携帯電話等含む)

加 入 電 話 = 一般加入電話

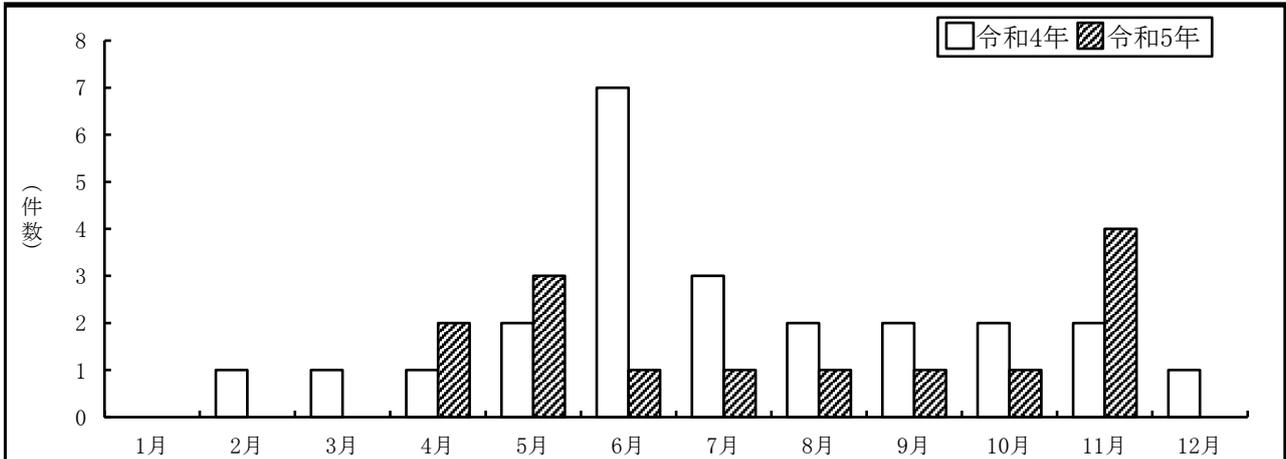
	出場車両	人員	事故概要等	救助概要等
	広報車	4	御在所岳裏道登山道で登山中に左膝の痛みで動けない。	自力で御在所ロープウェイ山上駅まで登山したことを確認したため、救助活動なし。
	ポンプ車 救助工作車 救急1号車	9	高速道路上での車2台の追突事故及び車3台の追突事故が発生し、車のドアが開かない。	現場到着時には道路管理者により通行止め規制がされており、事故車両内の閉じ込め及び油漏れがないことを確認したため、救助活動なし。
	ポンプ車 救助工作車 救急1号車	9	車の単独事故により横転した車両に閉じ込められている。	現場到着時には、自力で車外へ出ており救助活動なし。
	救助工作車 救急1号車	7	自転車で走行中に約3m下の河川へ転落した。	バスケット担架と三連梯子を使用して、堤防上まで救出した。

山岳救助

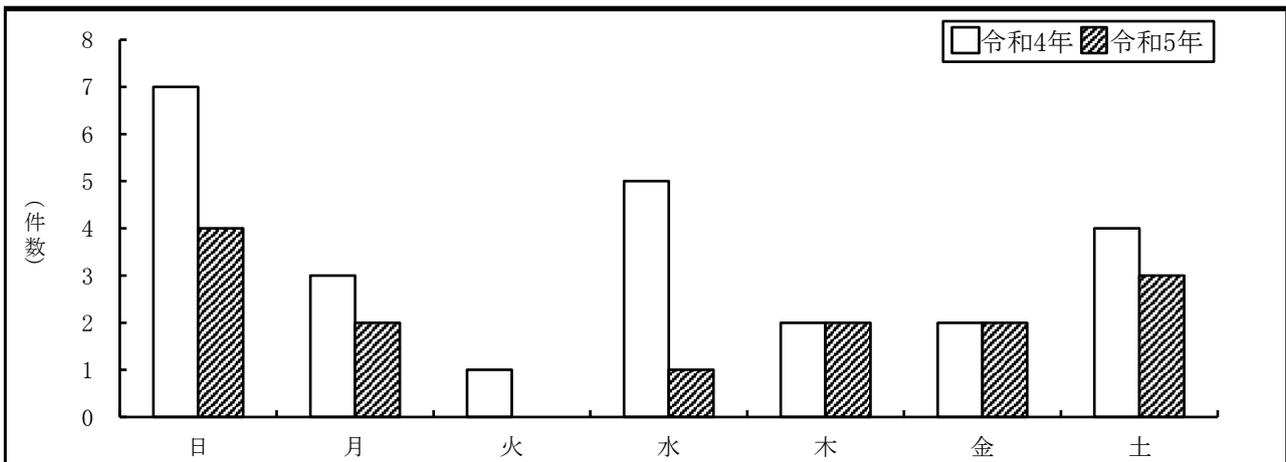
当町は面積の約3分の1が山岳地帯で多数の登山者が入山することから年間を通して山岳救助事案が多く発生しており、令和5年は14件の山岳救助出動をしています。

山岳救助事案の半数が防災ヘリコプターと連携し救助活動を行います。山岳救助の出動から救助完了までの平均活動時間は3時間11分であり、最長活動時間は4時間43分を要しました。

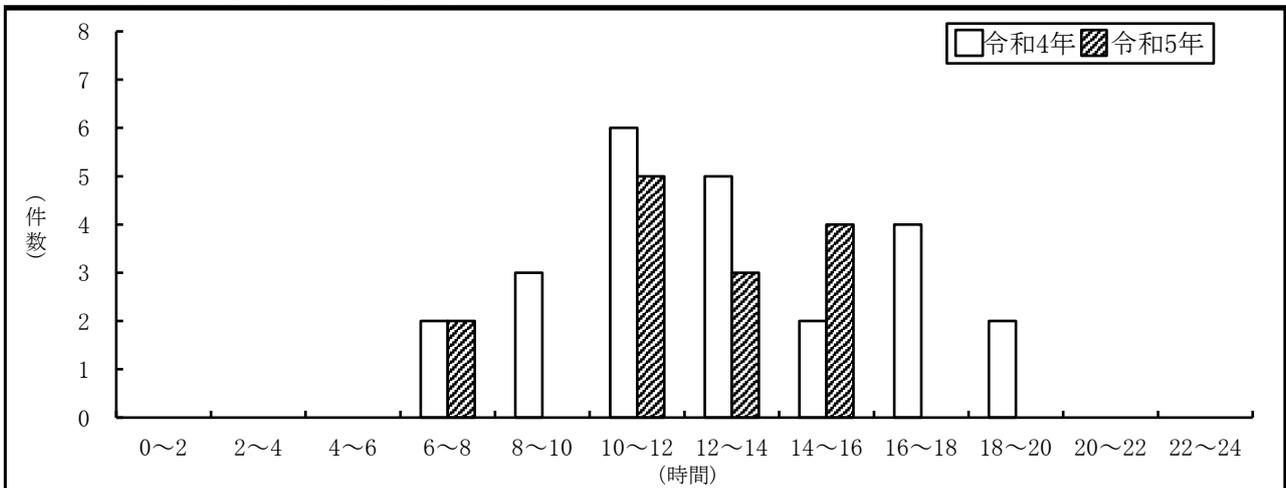
月別山岳救助出動状況



曜日別山岳救助出動状況



時間別山岳救助出動状況



気象、通信、その他



災害が起きた際、菰野町民が一丸となり災害に対応します。区長や事業所の方々、自警団、消防団が参加し、防災意識の向上、水防工法の知識及び技術の習得を目的とした水防訓練を実施しました。また、身近な物で簡単に作成することができる簡易水防工法についての指導も行っています。

水防訓練

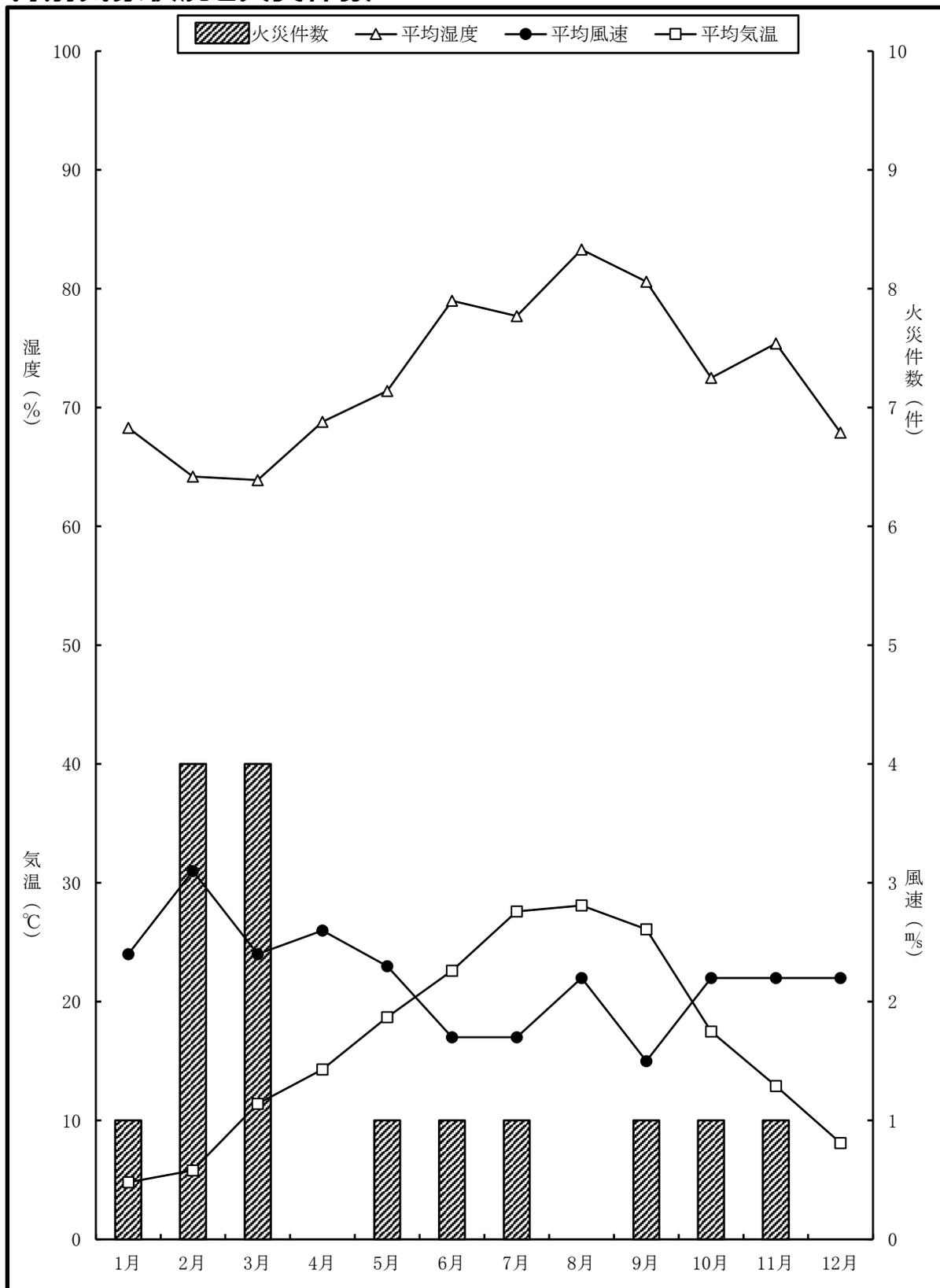
令和5年5月28日

於：三滝川河川敷

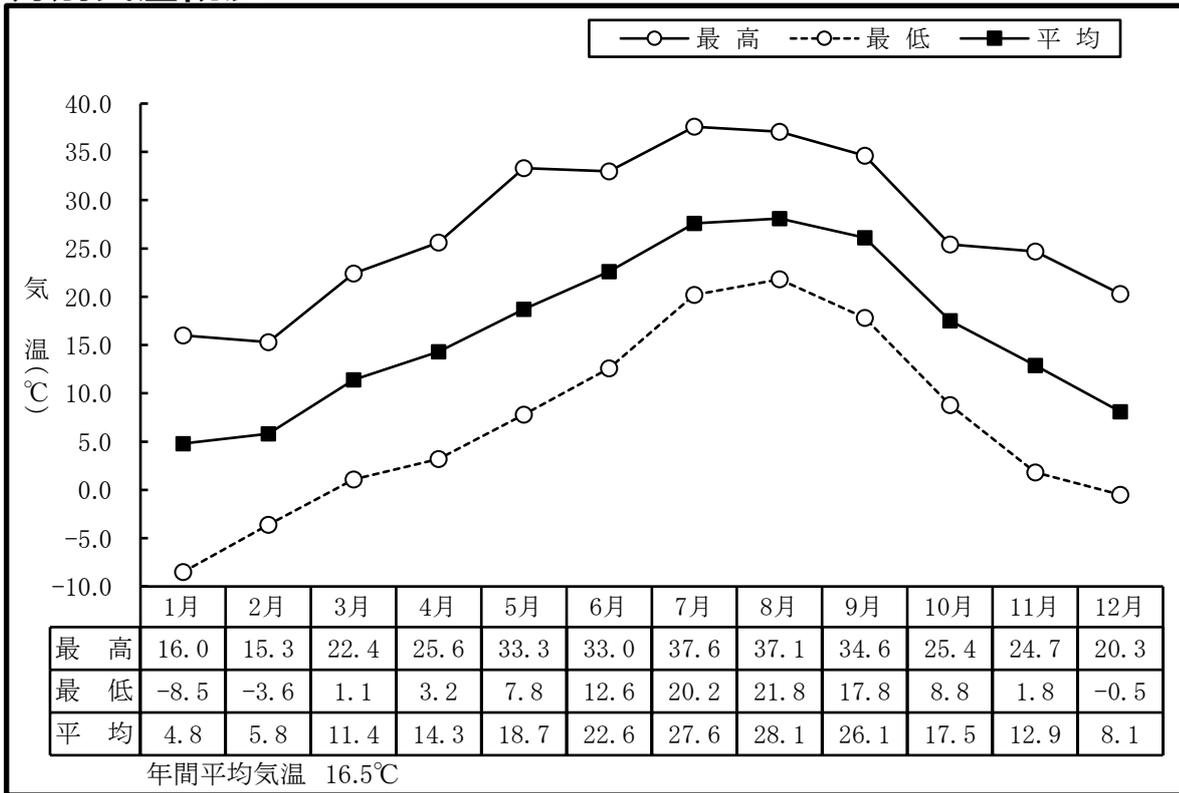
気象

気象観測システムによる自動定時観測（風速、気温、湿度、降水量等）を行っています。また台風、豪雨や警報発表時には定時以外においても必要に応じた観測体制をとっています。

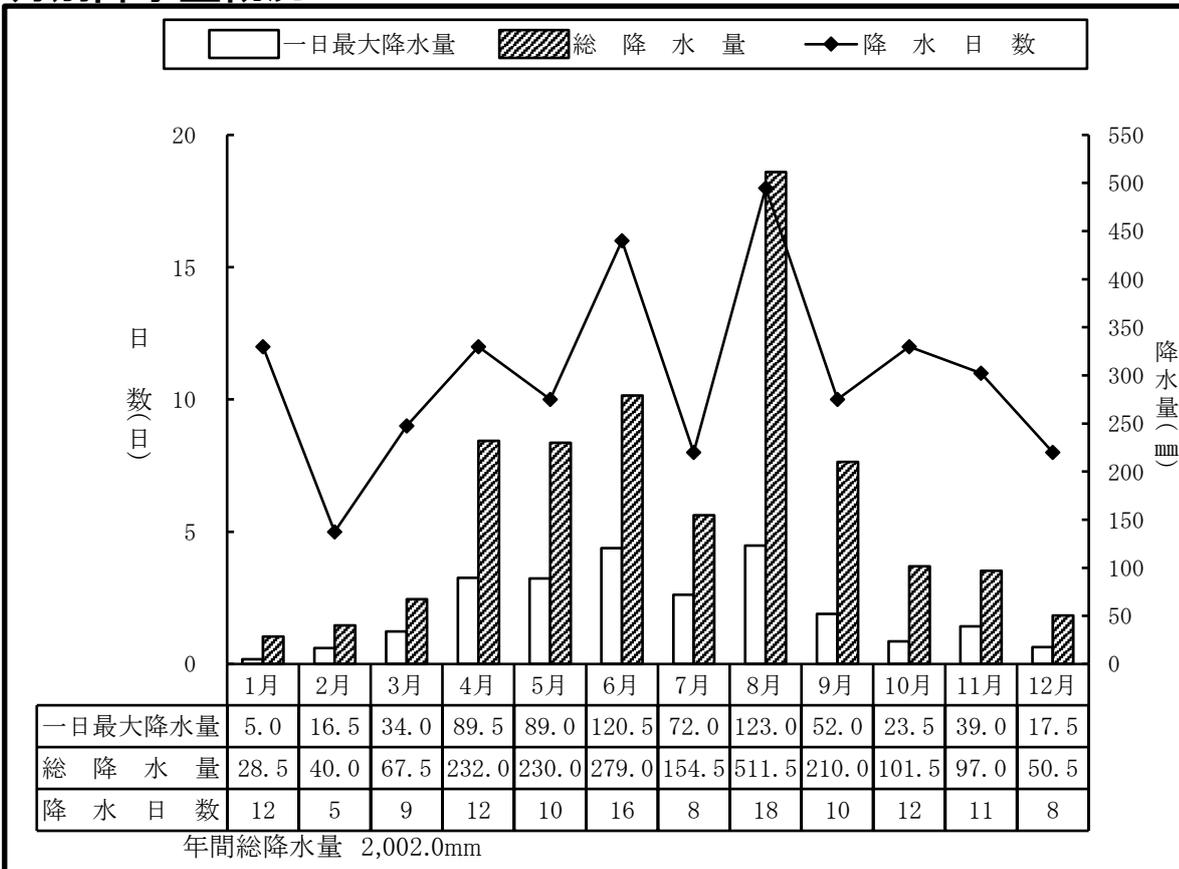
月別気象状況と火災件数



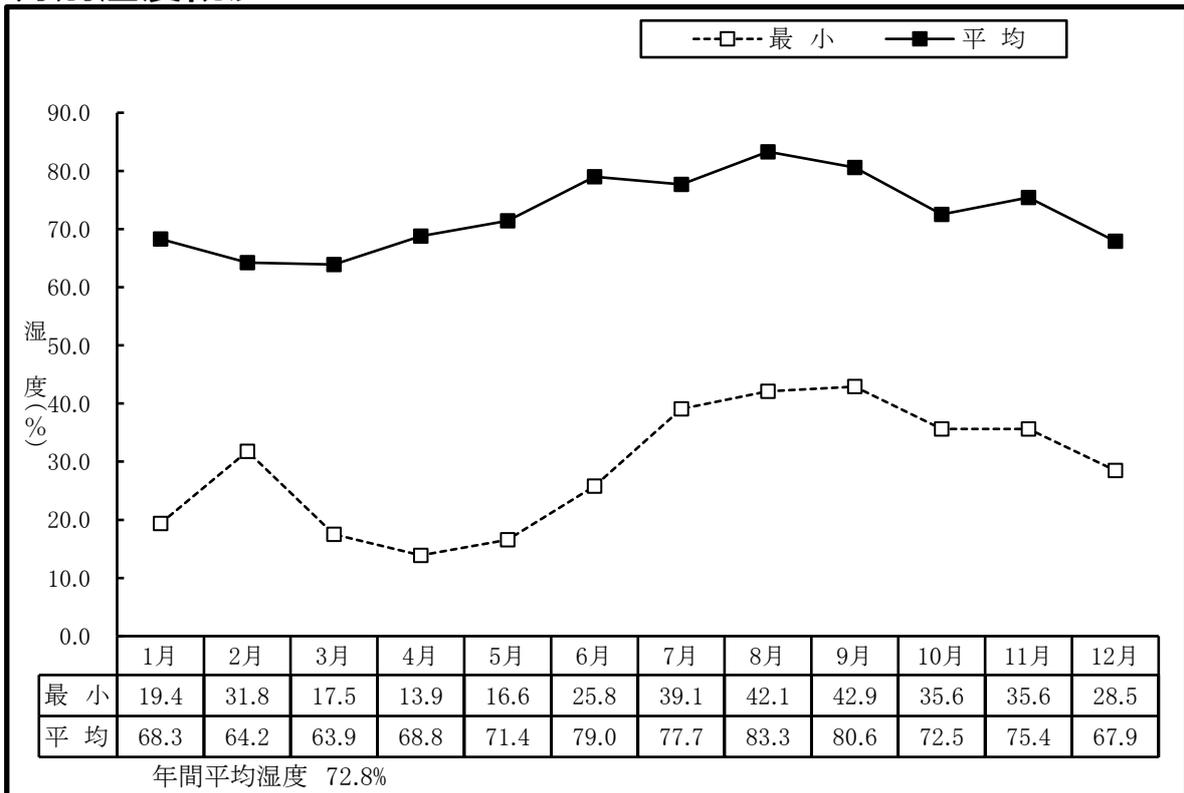
月別気温概況



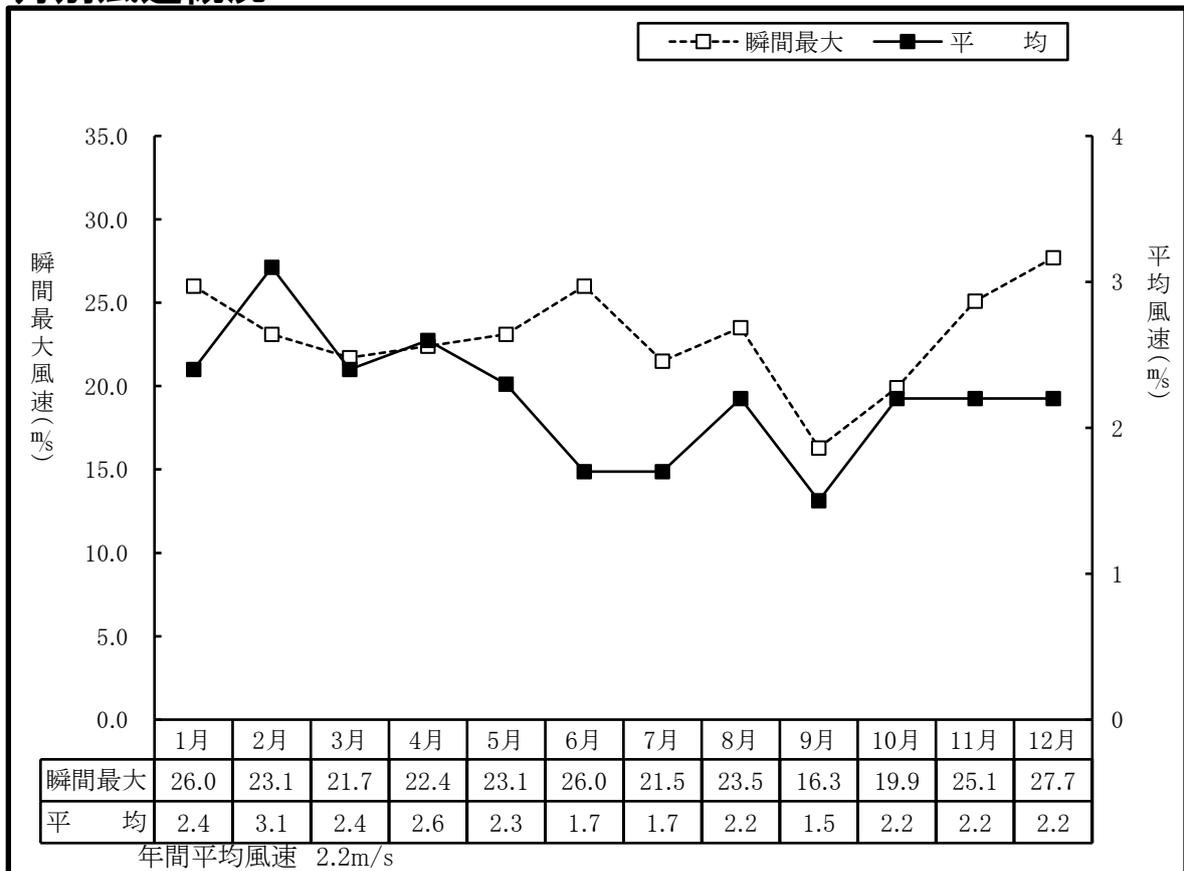
月別降水量概況



月別湿度概況



月別風速概況



気象通報受信状況

気象通報		月 別												合計
		1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	
特別警報	暴風特別警報													
	暴風雪特別警報													
	大雨特別警報													
	大雪特別警報													
警報	暴風警報								1					1
	暴風雪警報													
	大雨警報								2					2
	大雪警報	1												1
	洪水警報													
注意報	風雪注意報	1												
	強風注意報					1	1		2					4
	大雨注意報				1	1	1		6	1				10
	大雪注意報	2	1										1	4
	洪水注意報						1		3					4
	着雪注意報	1												1
	乾燥注意報		3	6	2	1							1	13
	濃霧注意報	1	1	2	3	1	1	1				2	1	13
	霜注意報			7	2									9
	なだれ注意報													
	融雪注意報													
	低温注意報	3	1											4
	着氷注意報													
	雷注意報		1	4	7	5	7	9	9	11	5	4	3	65
	竜巻注意情報						2	2	1	2				7
熱中症警戒アラート							29	28	5				62	
火災気象通報		2	4	8	4	4	1						1	24
三重県気象情報	雷と突風に関する情報			3			1	8		4		8		24
	雷と突風及び降ひょうに関する情報				4	2	5	11	4	7	8			41
	大雨に関する情報						7		11					18
	大雨と高波に関する情報					1	3							4
	大雨と雷及び突風に関する情報						3			3				6
	大雨と高波及び突風に関する情報						4							4
	台風第6号に関する情報								12					12
	台風第7号に関する情報								19					19
	雪に関する情報												1	1
	大雪に関する情報	7												7
顕著な大雨に関する情報						1							1	
記録的短時間大雨情報														
土砂災害警戒情報									2					2
早期注意情報		103	89	96	97	98	103	96	120	96	102	98	98	1,196

注1) 同一種類の警報・注意報を継続する場合に発表された警報・注意報は回数に含めない。

注2) 竜巻注意情報は、三重県北中部を対象に発表された一連の情報を1回と数えた回数を示す。

注3) 高温注意情報は2021年度から熱中症警戒アラートとして発表。

注4) 火災気象通報は、三重県北部を対象に発表された回数を示す。

注5) 土砂災害警戒情報は、菰野町に発表された一連の情報を1回と数えた回数を示す。

注6) 早期注意情報は三重県北中部に発表された回数を示す。

通信指令

菰野町と四日市市、桑名市の3消防本部は、平成28年4月1日から 四日市市、桑名市及び三重郡菰野町消防通信指令事務協議会を設置して、四日市市消防本部中消防署中央分署内に三重北消防指令センターを整備し、消防通信指令事務の共同運用を行っています。

三重北消防指令センター119番通報受付取扱状況

種別 消防本部	火災	救急	救助	警戒	悪戯	間違い	訓練 試験	問合せ	転送	合計
菰野町	26	1,762	24	20	1	295	161	187	11	2,487
四日市市	181	17,406 【1】	82	269	14	3,175	1,614	1,901	166	24,808 【1】
桑名市	162	11,270	80	150	2	1,792 (1)	1,006	963	84	15,509 (1)
合計	369	30,438 【1】	186	439	17	5,262 (1)	2,781	3,051	261	42,804 【1】(1)

※【 】はFAX119、()はNet119 それぞれ内数。

通報は重複通報含む。

菰野町消防本部管内月別119番通報受付取扱状況

種別 月	火災	救急	救助	警戒	悪戯	間違い	訓練 試験	問合せ	転送	合計
1		182	1	1		15	8	19		226
2	18	112	2	1		25	5	8		171
3	4	134	3	1		16	19	10	1	188
4		131	2	1		29	10	11	2	186
5	1	125	3	2	1	42	17	19	1	211
6	1	127	1	1		28	10	20	1	189
7		193				38	14	21	1	267
8		174	2	5		26	4	25		236
9	2	129	2	5		17	23	14		192
10		149	2	2		24	20	6	3	206
11		167	5	1		13	24	16	1	227
12		139	1			22	7	18	1	188
合計	26	1,762	24	20	1	295	161	187	11	2,487

※【 】はFAX119、()はNet119 それぞれ内数。

通報は重複通報含む。

菰野町消防本部管内回線別119番通報受付取扱状況

種別 回線	火災	救急	救助	警戒	悪戯	間違い	訓練 試験	問合せ	転送	合計
119	固定	1	163	2	1	24	125	13	2	331
	I P	4	524	2	1	24	15	29	1	600
	携帯	21	1,075	20	18	1	247	21	145	1,556
	FAX									
Net119										
合計	26	1,762	24	20	1	295	161	187	11	2,487

通報は重複通報含む。

災害件数の推移

年	区分	火災 (件)	救急 (件)	救助 (件)	人口 (人)
昭和 60 年		11	308	3	31,099
昭和 61 年		23	442	3	31,546
昭和 62 年		15	434	7	31,949
昭和 63 年		15	497	9	32,218
平成 元年		13	569	12	32,443
平成 2 年		9	595	6	32,942
平成 3 年		17	573	6	33,504
平成 4 年		13	558	8	33,902
平成 5 年		6	641	10	34,362
平成 6 年		15	684	10	35,137
平成 7 年		23	694	17	36,036
平成 8 年		30	779	11	36,801
平成 9 年		36	684	12	37,402
平成 10 年		18	705	19	37,785
平成 11 年		21	746	16	38,229
平成 12 年		18	895	23	38,713
平成 13 年		25	995	19	38,939
平成 14 年		21	1,018	9	39,074
平成 15 年		23	1,096	28	39,155
平成 16 年		12	1,091	29	39,494
平成 17 年		23	1,195	33	39,989
平成 18 年		20	1,187	21	40,274
平成 19 年		21	1,248	21	40,550
平成 20 年		19	1,266	23	40,784
平成 21 年		16	1,208	25	40,977
平成 22 年		15	1,242	32	41,025
平成 23 年		9	1,360	22	41,171
平成 24 年		17	1,396	24	41,311
平成 25 年		22	1,473	17	41,329
平成 26 年		19	1,451	19	41,419
平成 27 年		12	1,433	32	41,540
平成 28 年		14	1,452	36	41,803
平成 29 年		20	1,480	39	41,820
平成 30 年		13	1,607	34	41,738
令和 元年		8	1,598	31	41,610
令和 2 年		10	1,349	36	41,670
令和 3 年		14	1,458	29	41,390
令和 4 年		13	1,777	50	41,189
令和 5 年		15	1,780	34	40,931

※昭和60年の災害件数は消防本部発足（4月1日）からの数値
 ※人口は年度末の数値

令和6年版
消 防 年 報

発 行 日 令和6年8月

編集・発行 菰野町消防本部

〒510-1253

三重県三重郡菰野町大字潤田4418番地

電話 (059) 394-3211

FAX (059) 394-5766

E-mail komonofd@m3.cty-net.ne.jp